臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁
臺灣日日新報社 發行所 臺北市榮町 發行人 野前尉若
定價 本紙一部五錢 一ヶ月金壹圓 三ヶ月金參圓 六ヶ月金五圓五十錢 一ヶ年金拾壹圓
廣告料 普通一行金八拾錢 特別一行金壹圓 別ニ定ム
電話 代表番號 一〇番 私書函 臺北三番

改訂增補 臺灣六法 定價金四圓 送料卅八錢
發行所 臺灣日日新報社販賣課

9月新秋號
中央公論
特價八拾錢

司法官に上るの書 高島米峰
國家改革の原理・宮澤俊義
☆内閣審議會と調査局運用論・高橋龜吉
小説 ある有閑マダム 近松秋江
小説 女の産地 徳永直
小説 牡礪 林芙美子
讀書論 南弘
科學隨感 長岡半太郎
法律談 末弘嚴太郎
信託 村上成實
花柳界と演劇 小林一三
父・杉山茂丸…夢野久作
(繪と文) 秋風帖 中川一政
論理の悲哀…逢川鶴次郎
◇運命と人の力・武者小路實篤
吉村冬彦氏の印象 辰野隆
★映畫女優は何故墮落するか……北山虎造
滿鐵新總裁松岡洋右……佐々弘雄
轉向後の左翼戰線……荒畑寒村
(口繪) 小杉放菴
街頭經濟學 大口喜六
高橋財政の檢討
退職手當法案の批判 末弘嚴太郎
◇ラヂオの反動化を難ず ・長谷川如是閑 ・清澤洌 ・廣津和郎 ・吉本明光
◇古今賣笑婦物語……瀧川政次郎
戀愛・映畫・新聞小説 大熊信行
◇田中總裁の登場……小泉策太郎
左團次自敍傳
寫眞の逆說……原奎一郎
隅田川兩岸 久保田万太郎
◇人の思ひ出・山川均
東京丸ビル 中央公論社 振替東京三四番
街の人物論 ▼重光葵 ▼市丸… ▼矢野恒太 ▼井伏鱒二
横光利一
室生犀星
杉山平助
現代家族論 戸田貞三
渡滿所信 松岡洋右
非常時陸軍論 平田晋策
新響の内紛 近衛秀麿
文藝時評……正宗白鳥
三黨首會同論……馬場恒吾
小森宗太郎
世界の暗室 Z・Y・X
特輯 極東問題の新展開 芦田均 尾崎秀実 伊藤正德
大奥太平記 村松梢風

九月號 定價五〇セン
文藝春秋

外交回想斷片 石井菊次郎
歴代總理を檢討する 岡崎邦輔
□選擧今昔譚 (政界夜話) 城南隱士
□軍部畏怖症 (新聞月評) 大森太郎
□新響騷動とAK (ラヂオ月評) B・B・S
松平恒雄論 伊藤正德
蘇聯五ヶ年計劃は失敗? 星島二郎
文壇人の經濟 杉山平助
選擧肅正と婦人團体 柿山浮士
女性滿足論 石原修
新響を追はれて 原善一郎
滿鐵を覗く 太田正孝
刺された永田鐵山 江戸川清
父杉山茂丸を語る 夢野久作
戰爭の氣象學 荒川秀俊
京大事件後日物語
暑中演劇雜筆 三宅周太郎
□別莊の高橋藏相 (繪と文) 岡本一平
歐米二ヶ月の旅 丸木砂土
滿洲土産ばなし 市村羽左衞門
新黃禍論 清澤洌
大自慢 家の犬 此頃…藤井浩祐 私の犬達…菊池寛
人物評論
都市 △松本 △金澤 △長野 △新潟 △大阪

隨筆
世界の歡樂街を語る座談會

殘暑隨筆
羅馬の夏……五來素川
カムチャッカの話……並河功
夏羽織……下島勳
利根川べり……有馬賴寧
雜草の庭……富安風生
新人輕蔑論 小林秀雄
小説 裸像 徳田秋聲
懸賞當選長篇實話 鬪犬師秘話
梨園太平記 四谷左内
□話の屑籠 菊池寛
□思ひ出るまゝ 徳田秋聲
□二階堂放話 久米正雄
芥川賞受賞作品 蒼氓 石川達三
東京市麹町區内幸町大阪ビル 文藝春秋社發行 振替東京一七六〇三

大阪商船出帆
●基隆出帆
神戸門司行 高千穂丸 蓬萊丸
福州上海行 長沙丸 京盛丸
廈門・汕頭・香港行 廣東丸 山東丸
福州廈門行 大球丸
大連天津行 中華丸
鹿兒島長崎博多北轉行 江蘇丸
沖繩行 湖北丸
新港・花蓮港・台東行 めでたい丸 めりい丸
比律賓行 めきしこ丸
南洋行 かなだ丸
●高雄出帆
馬公行 壹岐丸

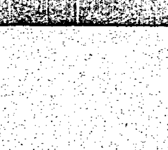
近海郵船出帆
門司神戸行 吉野丸 八月廿八日 大和丸 九月二日 朝日丸 九月七日
大連仁川行 岐阜丸 八月三十日

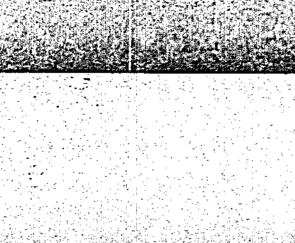
辰馬汽船出帆
内地行 綾葉丸 八月下旬

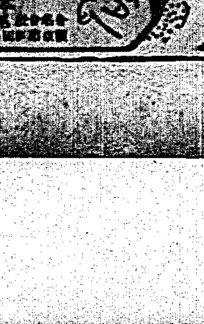
大連汽船出帆
大連直行 山西丸 八月廿八日 山東丸 九月七日
代理店 丸一組

會葬御禮 松崎兼藏

商業登記公告
●株式會社新高新報社變更 取締役田宮護造 昭和拾年八月九日死亡
●株式會社日東商船組變更 (支店) 取締役金松又一、大坂健夫立石定吉、中口金作緒方孫之助監査役黒木直吉 昭和拾年八月拾五日各辭任 右昭和拾年八月廿四日登記
臺北地方法院基隆出張所


ナツヤスミ ニッキ ワスレズニ
グリコ




ひふ病の良薬
●たむし ●水むし ●いんきん ●しらくも ●はたけ ●雨虫の害 其他ヒフ病一切
全治水

擧軍一致協力し粛軍の統制へ邁進

けふの師團長會議を前に 中央と地方意見一致す

【東京二十五日發聯合】永田事件に關する重大な時局の爲、臨時軍司令官師團長會議に召集された寺内臺灣軍司令官、香椎第六師團長、宇佐美第七師團長、植田朝鮮軍司令官其他續々入京し、二十五日中に全部入京する筈であるが既に入京せる寺内軍司令官以下各師團長は何れも今回の永田中將遭難事件は光輝ある皇軍の爲

遺憾な不祥事件である

と爲し速かに粛軍一致協力、紀綱を正し嚴正なる軍規を保持し軍の統制を强化し國軍の本分に邁進すべきであると何れも中央部並に軍事參議官の決定と一致するに至つたので林陸相は之に勢を得て二十六日の師團長會議に於て重大なる訓示を與へ之が徹底を期して大訓示を爲し之れが實際を期して居るが陸相は更に一層有效適切なる粛軍の實現を期すべく師團長會議後各軍司令官、師團長等を個別に招致し陸相より懇談的に時局其他に付き

內外の情勢に關し説明を與へ同時に各師團長より粛軍統制强化に對する諸般の狀況を聽取、意見の交換を爲し軍粛軍の實を擧げる事となつた

軍司令官師團長と陸相が個別に會見

【東京二十五日發】永田事件に關する臨時軍司令官師團長會議は二十七日の直前に各師團長は會議開會に先立ち二十五日午前十時に軍司令官は師團長會議終了の爲二十四日午後六時四十分上京平ホテルに投宿したが二十五日午前十時陸相を訪問、挨拶を述べた

【東京二十五日發】永田事件に關する臨時軍司令官師團長會議は二十六日午前九時より陸軍省第一會議室で開會、林陸相より粛軍紀綱の强化に關する訓示をなし顧問官の出席を求め各師團長の意見交換をなす豫定である、尚右會議後陸相は時間の許す限り軍司令官師團長と個別的會見をなし管下軍隊の情勢を聽取し兼て意見の交換をなす筈

寺内軍司令官 林陸相を訪問

【東京二十五日發】寺内臺灣軍司令官は

陸相の辭任の時期

十二月の定期異動に於て所信を實現した後と見らる

【東京二十五日發】林陸相の辭任は陸相數次の言明より見て永田事件に對する善後措置の一段落を俟つて責任を取るものと察せられるが而してその時期は陸相自身が何の程度の處置並に事態を以て一段落と看做すかにかかつてゐるので陸相以外の何人にも豫斷を許さないのであるが二十六日の軍司令官、師團長會議における陸相の訓示は軍事參議官をも加へた陸軍首脳部の完全な意見一致に基くものである關係上この會議の結果を各軍司令官師團長が管下軍隊の末梢にまで傳達し終つた時がその時期ではないかと見る向がある、然しながら之が傳達は實際において陸相所期の目的達成を證明するものとは言へず、陸相多感なるべき立場から陸相としては恐らく右の場合を以て決心をなさず右に基く情勢の推移を注視しつつ三長官並に軍事參議官等との圓滿な協調の下に可及的急速に第二、第三の處置をなし更に來る十二月の定期異動において所信を實現した上決心を致すのではないかと察せられる

明年度の要求豫算二十八億圓を突破

新規要求は十一億圓臺か けふ大藏省が第一次豫算省議

【東京二十五日發】明年度一般會計各省豫算概算書は二十五日までに大藏省主計局に一通り出揃つたが、之に依ると明年度各省新規要求總額は八億五千五百九十萬圓にすぎず今後提出される分擬數三億圓を加へても十一億五千九百萬圓に止まる模樣で本年度豫算編成當時の新規要求額が十二億を突破したるに比すれば多少とも各省自制の跡が認められるのであるがそれにも拘らず之に基礎豫算十六億六千五百萬圓に合算すれば二十八億一千萬圓となり尨大なる巨額に達することとなる、然るに之に對する歳入は租税、官業收入を中心とする普通歳入が自然增收を加算して勢々十四億乃至十五億程度に過ぎないから差引歳入の不足額は當然公債發行に俟たねばならず公債漸減主義を死守せんとする大藏省として勢ひ新規要求に對し嚴重な削減の態度を以て臨まざるを得ないであらうと見られ、二十六日の豫算省議を皮切りに豫算査定工作に乘出さんとする大藏省の態度は極めて注目さる

【東京二十五日發】大藏省では二十六日午前十時より藏相官邸別館において第一回豫算省議を開き賀屋主計局長より各省豫算概算書內容に付いて詳細説明、九月早々開始さるべき豫算査定方針の大綱に關し事務當局としての見解を披瀝すると共に高橋藏相の最高方針に基き種々指示を仰ぐ筈であるがその決定は注目されてゐる

"總噸數制以外には協定達成の途なし"

海軍制限の新方式につきバイウオーター氏が主張

【東京二十五日發】本年中に開かるべき海軍軍縮會議及び會商の主催者立場にある英國は最近頻に關係各國の意向を打診しつつあるが、會議の主要議題として自主的兵力量の主張と量的制限を一歩も出ず、帝國の公正妥當なる保有量の共通最大限設定...二十二日更めて帝國の軍縮根本原則を表明せる覺書を英國政府に提出した

るか、茲に注目すべきことは英國海軍の私設代弁者を以て自他共に許す海軍評論家バイウオーター氏が近著ニ・サーチライト・オン・ザ・ネービーにおいて海軍制限の新方式に言及し帝國の主張たる保有量の共通最大限設定以外新軍縮協定を

達成する途はない

と論じてゐることである、即ちその要點を抜萃すれば左の如くである

一、現行制度は艦種別制限になつてゐるが之は總噸數制に改めなければならぬ、現行の制度は全く非理論的である

一、寧ろ之に優る方法は英米等割當噸數を廢めて各國に共通の最大限噸數制限を設けるにある、而して斯くせば從來の弊害を一掃することが出來る

一、英米は艦種別制限を主張してゐるが日佛伊は總噸數制を希望してゐる 總噸數制の反對論は立たない、現行條約では英米が斷然優越にして日本は一時第三位を忍びその人爲的たるや言を俟たぬ、故に之が永續せざるべきは勿論國際關係に大害を與へつつある

一、今やワシントン及びロンドン條約は次の會議において到底存續しない形勢である、之に代るべき唯一のものは共通最大限噸數制度である 英米兩國の政治家は行手の危險信號を直視せよ

海軍軍縮に關する多邊的會談を悲觀

日本の主張に米が反對するため テレグラフ紙が

【ロンドン二十四日發電通】海軍軍縮問題は過日イギリス政府が佛伊兩國に送つた覺書を日本政府へも傳達し海軍軍縮問題に關し九月末乃至十月を期し關係國と多邊的會談の開催を希望したため再び關係國の注意を新にするに至つたが二十四日のデリー・テレグラフ紙は左の如き評論を掲げてゐる 日本にイギリス政府の覺書に對する回答において依然として共通最大限保有量の設定を先決條件として主張してゐる關係上豫定通りに九月末乃至十月に多邊的會談を開催することは至難となつた日本の主張する共通最大限設定は即ちパリテイーを意味するものであるが右パリテイーの主張はアメリカが斷然反對してゐるものであり從つて日本をして先づこの先決條件を撤回せしめぬ限り會談開催は不可能であらう

南洋統治諸島の築港費問題 聯盟の報告提出

【ゼネバ二十四日發電通】ゼネバ駐在日本總領事館は二十四日聯盟に對し委任統治地の狀況に關する帝國政府の年次報告書を提出したが帝國政府は右報告書中に於て委任統治委員會が日本南洋諸島の築港要求に際して答へる爲左の如く答へてゐる 帝國政府は千九百二十二年南洋諸島より海軍を撤退して以來同地に要塞を築造せしめたる事實なきのみならず如何なる軍事施設を維持したこともない、南洋廳は千九百二十六年港灣の改善を決定し同年より千九百三十二年までに百七萬三千二百九十圓を豫備工作のため支出し、その後千九百三十三年に本工事費として十五萬千四百三十五圓を支出した、南洋廳は更に來る十月委任統治委員會の審理に附される筈

川越對滿事務局次長渡滿す

【東京二十五日發】川越對滿事務局次長は二十五日午後九時半東京驛發で渡滿した約一ヶ月間の豫定で滿洲各地を視察し九月下旬歸朝の豫定である

富の再分配課稅法案 米國議會を通過

【ワシントン二十四日發電通】アメリカ上院は富の再分配を基礎として編成された新課稅法案を二十四日可決し茲に同案は兩院を通過してホワイト・ハウスのルーズベルト大統領の許に送付された

東阿の風雲急迫す

エ國ハイレ陛下 防空法を發布さる

地方的條件を考慮して居り 避難方法を指示

【アヂスアベバ廿四日發電通】東阿の風雲急を告げエチオピアも國をあげて戰爭準備に怠りないが二十四日ハイレ・セラシエ陛下の名を以て一般人民に對し防空に關する左の布告が發せられた同布告は歐洲の防空法にエチオピアの地方的條件を考慮したるアフリカ大陸に於ける最初の防空法とも看做され注目されてゐる

敵機が破壞又は燒拂ひの爲め現はれた場合には三發の銃聲と各寺院の鐘に依り警報を發する、人民は直ちに家屋を離れ草林中に避難すべし若し附近に草林がなければ視野の利に恰好な場所に出て爆彈が附近に落下しても身を護り得るやう敵機の行動を監視すべし、敵機が去つた場合は七發の銃聲で合圖する人民は速かに歸るべし猶政府はあらゆる防空手段を講ずると共に警察當局は避難中の掠奪を防止する爲め各住家を保護するであらう

宣戰の場合に首都住民は退去

伊軍の空襲を豫期して發令

【アヂスアベバ二十四日發聯合】伊エ開戰不可避の形勢に鑑み二十四日エ國皇帝セラシエ一世は首都アヂスアベバの一般住民に對し、イタリーが宣戰を布告した場合一週間以內に首都を退去するやう命令した、これは伊エ開戰の場合イタリーが最初に執るべき手段が空襲に在る事を察知した爲でセラシエ二皇帝は同時に總ての政府官吏以下の時間内に退去するやう發令したが右命令が發せられるや十二萬の首都の住民は大恐慌を起し早くも人々は續々たる有樣である

萬一に處する各國の防衞手段

極祕裡に準備を急ぐ

【ロンドン二十四日發聯合】伊エ兩國の危機が刻々迫りつつある今日地中海に面し或はこの方面に利害關係を有する諸國は揃つて不祥事件の勃發を未然に防ぐと共に萬一の場合にその利益を保護せんがため着々手段を講じ各國とも極祕裡に計畫を進行しつつあり、表面に現はれた以外の動きは全然窺知を許されぬ實狀であるが今迄に探知し得た各國の軍備狀況を示せば次の如くで英國を始めスペイン等が如何に自己防衞手段に汲々たるかを窺知し得る

英國 ジブラルタル方面 航空母艦グローリアス號及び驅逐艦隊を派遣、マルタ島方面 主力艦二隻、第一、第三巡洋艦隊、第一潜水艇隊が既に滯在、尚第三驅逐艦隊と航空母艦一隻が二十三日マルタに向つた

佛國 地中海諸港における海軍力充實强化に全力を注ぎつつあり

西班牙 既にバアレアリック群島中のイヴイサ島に野砲二個中隊を派遣、更に同群島ポートマホンに於て裝甲艦が同地要塞用として十五吋砲二門を引渡したと傳はれジブラルタル附近の都市にスペイン兵力が頻々と集結しつつあり

伊國 イタリー當局は伊領ドデカネーゼ島を海軍用根據地とする計畫を樹て既に同島民を立退かせた

米國 米國艦隊が近くジブラルタルに到着するとの噂あるも同地米國領事館は何等關知してゐない

佛國との協力を表明

英國大使より

【パリ二十四日發電通】駐佛クラーク英大使は二十四日エチオピア問題對策に關するイギリス政府の覺書を携へラヴアール佛首相を訪問、英佛兩國提携に付き懇談を遂げたが英大使の說明せる要點は左の如きものと傳へられる

一、イギリス閣議は聯盟規約の嚴重方針の徹底を期することに決定し制裁手段に關する用意まで考慮した

一、イギリスはフランス首相の和平努力をあくまで援助しあらゆる行動を今暫く見合せることとした

一、戰爭回避のあらゆる手段に付きイギリスはフランスとの完全なる連絡協力を希望する

一、イギリスはフランスに諮ることなしに紛爭に付き自分一個だけで行動に出ることは絶せぬ方針である

伊領內軍用飛行場 數は三倍に增加

【マツサワ(伊領エリトリア)二十五日發電通】イタリー領の軍用飛行場は急速計畫により開始前に比し約三倍に增加され、今次東阿飛行場を經つて日每に飛び交ふ伊軍の大小軍用機は紛爭の空に緊張を漲らせてゐる

伊陸空軍演習 愈よ序幕へ

【ボルツアノ(イタリー)二十四日發電通】東阿大遠征がイタリー本國の武備を何等弱體化せしめるものでないことを示威する爲め企てられたイタリー陸空軍大演習はボルツアノ市を中心として愈々その幕を開きムツソリーニ首相はナポリ出征の部隊の見送りに行かず愈々ボルツアノへ全軍統裁のため乘込んで來るといふ總て今やオーストリア國境に近き北イタリーの山河は全國から馳せ參じた百萬に近き將兵の攻防演習に時ならぬ殺氣を呈してゐる

聯盟の紛爭調停委員會

【ベルヌ(スイス)二十四日發電通】イタリー、エチオピア紛爭に關する聯盟の調停委員會は二十四日當地において會合、今次東阿問題紛爭の導火線となつたワルワル事件關係のイタリー兵及びイタリー領ソマリーランド土民兵の正確な數字を調査したが、二十五日には愈々最後の解決案を發見すべく努力し然る後パリに向ひ出發するものと期待されてゐる

東阿戰線へ向ふ

ム首相の御曹子ら 二十四日ローマを出發

【ローマ二十四日發聯合】イタリーの參戰すべく義勇軍に志願する決意を固めたムツソリーニ首相の御曹子ヴイツトリオ及びブルノの兩君並にムツソリーニ首相の女婿で宣傳相チアノ伯は二十四日ローマを出發東阿に向つた

【ナポリ二十四日發電通】イタリー東阿派遣軍二十四日一千名の黒シャツ義勇軍を乘せてナポリ出帆、ムツソリーニ首相の御曹子を乘せたサイニヤ號は東阿派遣を前にしつつ地中海を東へ東阿の途に就いた

日支經濟合作

漸く實現の曙光 經建の計畫もその一つ

【北平二十四日發聯合】支那關係當局は最近北支五省政府に對し經濟開發に關する日支提携の具體的計畫の樹立を命じた事實あり、今回の經濟建設委員會も右計畫の急速な實現を促す目的のものと觀られ茲に北支に於ける日支經濟合作は漸く曙光を見るに至つた

河北經濟協會を設立

【天津二十四日發聯合】金城銀行、鹽業銀行兩總理等支那實業界の巨頭は河北經濟協會を設立し王克敏、商震氏等を始め其他各有力方面から委員を擧げ河北省の

對日經濟提携に經濟建設委員會

いよいよ北支に設立して 蔣氏親日を徹底

【北平二十四日發聯合】某方面の情報に依れば蔣介石氏は旣に大局的見地より親日に徹底するの覺悟を決めたものの如く北平政務整理委員長代理王克敏氏に對し日本との經濟提携の爲北支に經濟建設委員會を組織を命じ而も一週間以內に其の組織と顏觸れを決定せよとの性急な命令を寄せたと言ふ

大の期待を以て迎へられてゐる同委員會の下準備として北支有力財閥總理は日、滿、支經濟ブロツク結成の下準備として北支有力財閥を以て日本經濟視察團を組織すべく目下鋭意奔走中であり九月中には其の實現を見るものと期待されてゐる

興中公司に對應し大事業團の組織說

支那資本家間に擡頭

【北平二十四日發聯合】日本側の對支經濟工作が興中公司の設立許可に依り具體化した爲め支那側は異常な刺戟を與へ興中公司に對應する支那資本の一大事業團を組織すべきであるとの議が俄に擡頭して來た、金城銀行總理周作民、鹽業銀行總理吳鼎昌氏等の提唱にかかる河北經濟協會若くは其の具體化と觀られ約四、五千萬元の資本を基礎に大活動を開始するものと觀られることの事業團は北支經濟建設委員會設立の曉には其の指導下に起ち興中公司と提携し日本等共榮の手を差しのべ經濟合作に邁進するものと期待されてゐる

周金城銀行總理大連に赴く 支店落成式に

【大連二十四日發聯合】天津金城銀行總理周作民氏は九月二日同行大連支店落成式參列の爲二十日來連する事となつた周總理は之を機會に滿洲國政府當局者及び關東州在滿各有力筋と折衝北支を中心とする日、滿、支三國經濟提携につき意見を交換種々打合せを遂げる筈で同總理の來滿は各方面から多大の期待をかけられて居る

蔣駐日大使 昨日上海發 歸任の途につく

【上海二十五日發電通】蔣作賓大使は二十五日午前九時佛租界の私邸に孫科氏を訪問し孫氏の對日意見を聽取し更に午後零時半より吳鐵城市長主催の送別午餐會に出席した上午後五時半エムプレス・オブ・ジアン號で長崎經由歸任の途に就いた

何應欽氏 歸平取止め

【北平二十四日發聯合】北平歸任の豫定であつた軍事分會委員長何應欽氏は都合に依り突如之を取止め暫らく形勢の推移を見極めた上更に態度を決する事になつた

有吉駐支大使近く汪氏を訪問

山積せる日支諸懸案の解決のため乘り出す

【上海二十四日發電通】有吉大使は汪兆銘氏の辭任に依り支那政局に漸く安定なりたので有吉駐支大使は近く南京に赴き汪精衞氏を始め國民政府要路と會見、山積せる日支諸懸案の解決に乘出すこととなつた而して有吉大使は既に南京行に際し有吉大使は既に山内議の內容及びその後の支那政府の動向を詳細に廣田外相に報告してあり今後の對支外交に關し外務省の訓令を待つてゐるが右に對する回訓は目下審務打合せの爲め歸京中の堀內參事官が携行して九月上旬歸任の筈で有吉大使の南京行はその直後となる模樣である一方支那側では汪精衞氏の對日外交に付いては蔣介石氏が全面的支持を約して居り各要人連とも日支兩國親善を主張してゐるので今回の有吉大使の懸案解決要求に對する支那側の出様如何は更生後の國民政府の對日政策のバロメーターとして絶大の關心が拂はれて居る

國府さらに第二次抗議

軍用機の平津飛行を

【北平廿五日發電通】過般南京政府より我が大使館宛て平津地方における我が軍用機の飛行を抗議し來れるに對し大使館側より右は北支停戰協定に基く我方當然の權利である

旨の回答を發し南京政府の抗議を一蹴したが南京政府はこれに不滿の點ありとして近く外交部より第二次抗議を發することとなつた

米兩院協議會で特殊會社制限法案を可決

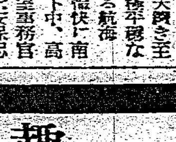
【ワシントン二十四日發電通】アメリカ下院は兩院協議會が修正を加へて承認せるホイラー・レイバーン公益事業持株會社制限法案を二十四日再議の結果可決し同案はルーズベルト大統領の決裁を求むべく白堊館に廻付された

米穀證券借替 一部現金償還

【東京二十四日發】大藏省發表八月二十六日支拂期日の米穀證券(第三十六回)六千七百萬圓は內千四百五十萬圓を現金償還し殘額五千二百五十萬圓は預金部及び日銀引受で借替發行することに決定した

臺中の司法書士試驗

【臺中電話】臺中地方法院では二十五日午前九時より臺中高等女學校に於て司法書士銓衡試驗を行つたが受驗者は總數百十八名で試驗問題は民事訴訟、刑事訴訟の意義特質その他である



(來航 兩天興き至穩平穩なる航海愉快に南下中、高

州知事西澤義徵、帝國憲法事務官川村直岡夫妻、後宮信太郎、安保忠毅、高橋親吉、黃南鵬、鐵道部技師田中友二郎、鐵道部技師正木嘉三郎、佐藤市尹の諸氏その他多數二十六日午後一時基隆岸壁着。(二十五日著無電)

訂正 昨紙若宮卯之助氏寄稿の「宋教仁の墓石」とあるは「宋教仁の墓石」の誤植につき訂正 (十三行目)

人事

▲迫本營長 臺灣軍(臺北駐屯)二十五日臺北より來北(鐵道ホテル)二十六日內地へ

▲喜多臺灣(臺灣省專賣局長)二十五日蓬萊丸にて歸臺

▲藤原臺灣(前代議士)二十四日來臺(鐵道ホテル)

▲若林警部(大日本ニューース社)二十四日來臺(鐵道ホテル)

シナチク

臺北帝大の井上學長は教授を文部省の精神文化研究所から買出しに來てゐる事は先頃も本欄で報じたが、之について帝原帝大總長は曰く「未だ正式に決つた譯ではありません、私は思ふに、國體明徵に就ては政府が聲明までも出し文部省は訓令などをも發き、國體觀念を充分に明徵ならしめて居り、歐に日本の國論も之に反對を表するものなく殆ど日本全國は國體觀念について統一されてゐるので今更特に我が大學の井上教授を招聘するまでの事は無いと考へます ▲それで目下文部省に異議を申立ててをりますので井上教授も文部省行きを思ひ止まつてくれるものと思ひます、既に井上教授が家財の處分をしたとか家族を東京へ歸したなどと言ひますが夫等の事は大した意味は無い筈です、何にしても當大學としては井上教授を手離したくありません」▲しかし他方面から聞く所によると井上教授が東京へ歸りたがつてゐるのは一年や二年來のことでなく、民間の宿望なので此の機會を逸しては北帝大に踏み留まる樣なことになるかもしれない限り先づ無からうとのヘナシ。

專賣特許 東京あまさけ

夏の履物
流行履物各種豐富に取揃へ格安に提供
◇裂地表重ね草履
◇棕南部表重ね草履
◇皮表重ね整姿履
趣味のネクタイ
◇大學趣味ネクタイ
◇流線型ネクタイ
◇幸運ネクタイ
御散策用ステツキ各種
榮町 大倉本店 電六二九五九〇番

病人の食物 カエデ牌 乳清乳 乳清 ニカル

小兒科 內科 大磯醫院
(病室準備中)
台北市京町二丁目中通り (電話四六四八番)
醫學博士 大磯友明

社員招聘 外務員 固定給有り、年齡二十五歲以上、入社後保證人を要す 第一生命保險相互會社臺灣支部
本町一 臺北市京町... 事務所 新竹 臺中 臺南 高雄 花蓮港

躍進 永樂女給の充實 博覽會を目指し(第一回著)
東京の藝術女給五名
八月廿六日蓬萊丸で來臺 皆樣の御高覧を御願ひ致します
カフエー 永樂 (電話二〇〇九番)

サンゴ名産品各種特賣
(學生の方は特に歡迎)
臺北市本町三ノ一 (榮天堂隣)
臺灣物產紹介所 臺灣珊瑚商會

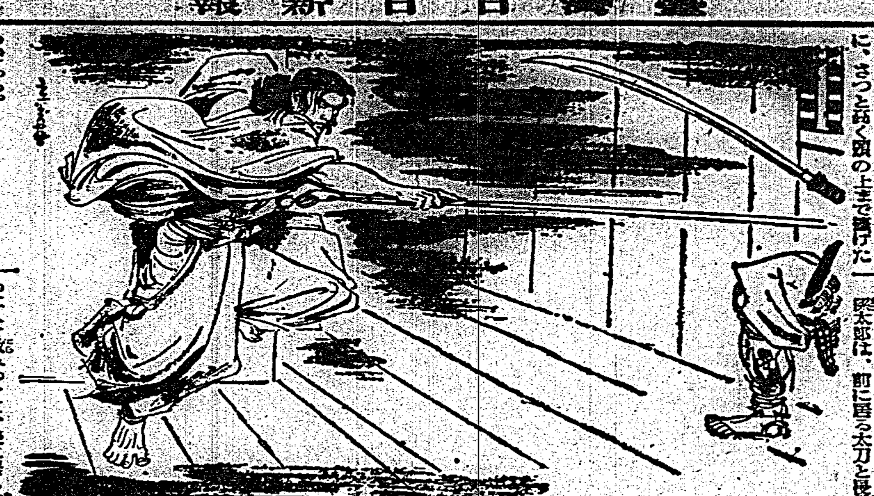
內科小兒科 呼吸器病科 入院隨意 淺井醫院

明石 金庫 東京製

國防受難の活歴史

元寇 (14)

藤井眞澄作 志村立美畫



兩雄の決戰 (三)

繁太郎は、右手を鐵鎖の背中に廻し、左手を彼女の兩足にからませて、輕々と抱き上げたのである。その長袖の紅衣と黒髪の後裾がだらりと垂れさがつて、扉の隙から洩れて來る月の光に、丁度照し出された。

彼女は、男の腕に上から情熱に浮かされてしまつたのであらうか直ぐ下に控えたつて居る二人の曲者の事を忘れて、繁太郎の胸に、そのうつ伏した顔を、あまへるやうに、擦りつけたのである。

「いつまでも……あの何時までも……」

女がさう呟くと、男は可愛くて堪まらぬやうに、強く抱きしめたかと思ふと、幼児にでもするやうに、さつと高く頭の上まで擧げたのである。

その拍子である。

彼女のあまへきつてゐた顔が、さつと、恐怖の表情に一變したのである。

「あれツ……」

この叫聲に、繁太郎が急いで顔の所へおろすと、彼女はおびえきつて、右手で男の背後の方を指すのである。

「また曲者が、あの中戸から……」

繁太郎は、そのまゝくるりと身體を廻して見ると、中戸は外から引き開けられて、そこからさしこむ蒼白い月光を背負うた曲者がキラキラ光る太刀、槍、長巻と共に、押し込んで来ようとするところ。

一人、二人、三人……。

一番前のが、こつちを透かして見つけると仰山な大聲を擧げた。

「居るぞ、居るぞ」

二番目と三番めのが、聲を揃へて叫んだ。

「おお……」

一番が、槍をひねつて、走りながら猛烈に突いて來た。

繁太郎は、抱いてゐる鐵鎖をはなすのが惜いやうに、そのまゝ身體をさう捌いて危くかはしたのである。

突きそこなつた一番は、自分の力でバタバタと倒れるやうに、廊下を向ふへスツ飛んで行く。

二番に、長巻を構へて進みかけたが、中側の格子と外側の扉が狹隘になつて、まごついてしまつた。

その隙に、繁太郎は月光の蔭から明い所へ、すつと寄りながら、手早く鐵鎖を下へおろして、後ろへかこふやうにした。

二番の直ぐ後から、太刀をふりかぶつた三番が、闇を見すかしては、進んで來ようとする。

後ろから、一番が向き直つて、槍を構へてゐることが、その烈しい息づかひで感じられる。

繁太郎の直ぐ後に、かたくなつて立つてゐる鐵鎖の眼に映つたのは、少し離れた所に轉がつてゐる金剛杖である。

繁太郎は、前に居る太刀と長巻の二人を睨みつけて、後に居る槍をも用心してゐるので、少しの餘裕も許されないやうである。

鐵鎖は、そーつと身體をかゞめて、金剛杖の方へ、じりじりと這ひ寄りながら、手を延ばした。が、まだ屆かない。

息をひそめつて、飛びつくやうに手を延ばすと、丁度金剛杖を握つた指先に、ばたりと倒れてしまつた。

「あの金剛杖を……」

倒れたまゝ叫んで、金剛杖をさしあげたのである。

繁太郎の手に、その金剛杖の端がほんのちよつと掛つたかと、思ふとそれは恐ろしいうなりをたてて、ビユツ……と、前の方へ振られたのである。

長巻と太刀は、ダジダジと後へ退がつた。だが、その間に、後ろの槍が、立ち上がらうとする鐵鎖の横腰へ、サツと突き出されたのである。

山下汽船の孟買同盟加入に決定

【東京二十五日發本社特電】山下汽船では本年二月より一ヶ月一回の定期でイラク航路を開設したが、その後セメント荷主の收益が多いため更に配船を増加しこれを毎月一回の定期として今日に至つた然るに本邦の孟買航路に英國のビー・オー汽船の三社を以て組織するボンベイ同盟はボンベイ英ビーアイ汽船に中繼してイラク方面への積荷を取扱つてゐる關係上、山下汽船のイラク航路開設以來該同盟と山下汽船との間には相當激しい攻貨獲得戰が開始され本邦船同志が相爭ふ状態を惹起した依て遞信省方面にても努てより之を憂慮し、英國との妥協を斡旋してゐたがビー・オー社とビー・アイ社との關係を考慮し容易に山下汽船の同盟參加を承認する態度を示さなかつた所が最近に至り新競爭者が現はれんとする形勢が見えたのでビー・オー社も急に態度を變更し山下の同盟參加を承認する意向を示すに至り愈々近日中に山下汽船のボムベイ同盟加入が正式に調印さるることとなつた

十一、二年期の 甘蔗植付豫定 十一萬八千八百餘甲 内七月植一萬七千餘甲

糖業聯合會臺灣支部調査によると新式製糖九社の十一、十二年期の甘蔗作付豫定面積は十一萬八千八百十二甲にして内七月中に植付を終へたるもの一萬七千四百二十四甲に達す、就中自作六千二百三十二甲、一般作一萬一千百九十二甲である、植付豫定面積と七月中の植付實績を各社に示せば

	植付豫定面積	七月中の植付實績
臺灣	二七、五〇五甲	一、八〇七甲
明治	三三、三二三	三、五二〇
大日本	一六、四一〇	四、一六六
鹽水港	一〇、一三六	三、一七〇
帝國	一〇、六九五	一、二〇四
昭和	六、二一〇	一、一三〇
新興	一、五六〇	五〇
臺東	(一三〇)	四〇
源成	六八〇	一
計	一一八、八一二	一七、四二四

就中明治、大日本、鹽水港の七月中植付が比較的多いのは特に天田を多く包擁する製糖所が多く七月植を勵行した爲めであり又新東の作付が割に多いのも近年務めて七、八月植に傾注してゐるからである 即ち明治の南靖は植付豫定三、三〇八甲の内七月中一、〇九〇甲、同蒜頭は植付豫定三、三四〇甲の内七月中一、六四六甲大日本大林は植付豫定二、六〇五甲の内七月中一、七六一甲、同斗六は植付豫定二、〇二九甲の内七月中一、四〇七甲、鹽水港新營は植付豫定四、九六二甲の内七月中一、四〇七甲、同岸内は植付豫定四、六〇五甲の内七月中八四五甲何れも植付を終つてゐる、其他明糖溪湖の一、三五九甲、昭和沙鹿の五三七甲(七月植)も多い方である、更に七月中の植付を自作と一般作に區別すると

(七月植)	自作	一般作
臺灣	三四〇甲	一、四六七甲
明治	一、〇五〇	二、四七〇
大日本	一、四〇〇	二、七六六
鹽水港	一、二四六	一、九二四
帝國	三一〇	八九四
昭和	三〇〇	八三〇
新興	一五	三五
臺東	一〇	三〇
源成	一	一
計	六、二三二	一一、一九二

八月以降の植付見込は十萬一千三百八十九甲である

臺博電氣館 飾付けの大要

博覽會の第二會場内に總督府遞信部の手で建設中の電氣館(建坪百卅坪)は外部だけ既に出來上り一兩日前から内部の裝飾に取りかかつたが外廓の電飾は赤、青、白の三色で約六百個一光を走り廻るやうにしポーチはカナリヤ色で流線型、日本サインときまつてゐる いま内部の陳列、飾り付けの大要を紹介すると

一、雷神ロボット これは電氣館の入口に裝置され身長八尺、左手に太鼓を持ち右手に拍子木を持ち時々太鼓を打鳴らす、又眼玉には豆電球を挿入し赤と青との交代點滅を爲さしめ頭を上下に動かす雨雲、稻妻等の背景あり、入場者が入口で雷神に向ひ何か物を言へば電話仕掛で之に返事をする、即ち裏室在住のロボットである

二、日月潭の杵歌 日月潭の湖畔にて蕃婦が民謡に合せて杵歌を奏して居る、全く俗塵を離れた原始的な氣分をあらはし前湖上には丸木舟及高砂丸等が浮動してゐて裏湖の周園には恰も鏡の上に映して居るが如き自然美を表はす蕃婦の杵歌は蓄音器を利用することになつてゐる

三、電氣の生立ち(發電所より需要家の電燈まで)遠方の山腹の湖水の水は水路に導かれ隧道を通り水槽を經て鐵管に落ち込んで水力發電所に於て起された電氣が電線によつて變電所を經て需要家に送られその所より再び配電線路にて工場、家庭、寄宿用家庭に至る徑路を模型其他にて一目瞭然判り易くし場面全部を抵抗利用照明裝置とし朝晝夕晩の二段切にて一日の光の變化を出し朝は工場地帶のサインチ風景なる機械等を運轉せしめ晝はベビーサイレンを鳴らし夕方は都會は勿論遠方の山嶽や農村部落が一齊に點火され晩には背景の後部よりメカホンセードにて空に月が登る等の趣向を凝す

四、電氣ホームの一日 即ち文化した家庭の一日を六つに區切つたもので電氣利用の宣傳を目的としてゐる、午前六時頃のお炊事、ラヂオ體操、八時頃のお化粧、十時お掃除の時間午後二時頃しい御來客 四時夕方のお掃除、七時今日の夜の食事等凡てに電氣器具を配置し電氣の効用を理解せしむ

五、夏の夜(照明の應用) 隅田川の川開きと云つたやうに闇夜の中天に花火が揚り流星が流れる屋形船が上り下りして居る等東洋古來の夏の夜の氣分を横溢せしむ

六、電氣稻荷の占ひ お稻荷さんの狐が辻占をくはへて出るといふ仕掛

七、オートレー裝置 現代的都會風景を表はし高架電車、地下電鐵、シグナル、自動交通遮斷器其他の仕掛けに赤外線を應用し新らしい電氣の利用方法を見せる

尚東京電氣の出品は 光と眼の關係▲眞空管が光を變へる▲光が聲を傳へる(光波を利用する光話機)▲電波を眼で見る(之は精密な機械で故障を生じ易いので或は變更するかも知れぬ)

臺電と東京電氣の外は三菱商事、出光商會、小林電氣部(松下電器)等から照明器具等を陳列することになつてゐる

米國と比島の 産業提携工作 通商協議會を開催し 第三國品の進出を排撃

日本綿布に對する關税引上案を審議未了のまゝ休會に入つた比島議會の動向については本邦官民各方面の注目の的であるが同議會は愈々來る九月に再會されるので去る二月以來比島業界の動向を注視してゐる かゝる折柄マニラ駐在我總領事より外務省に達した報告に依れば、比島政府は米政府の提案により近く米比間通商の全般的な問題について協議のため米比通商協議會を開催する事となり目下官民各方面の重要人物を各委員として人選中であるが、而して右協議事項の重なるものは比島内産業の保護に關する件、比島内産業を壓迫せざる米國産業に對して援助の件、比島に於て米國品と競爭的市場にある第三國製品の取扱方に關する件等と見られてゐる 即ち比島は近く愈々獨立する事となるが米比兩國間には通商上何等の取極めもないため米政府は右協議會によつて米比間産業の完全なる經濟提携を實現すると同時に比島市場から第三國品を驅逐せんとしてゐるものゝ如くである

綿絲安に株式反落 臺電株久振り額面を復活 鹽糖始め割安糖株買はる

株式は秋高氣の人氣漸く濃化し東新株は日本産業等日本新日興製帝人等一段の高値を見せ前れの外新買、相當出るに至つたが、俄然三品綿絲の暴落から紡績株の一角崩れ全般の買氣を殺ぎ市人全く警戒せしめた爲めか、り諸株一齊に反落軟調を辿つてゐる、併し綿絲安以外に格別悲觀すべき材料もないので此の暴落値の突込みは警戒され休日前新東は百四十圓九十錢と下げ文へ何となく下げ餘地乏しき風情に見受けられた、島内株は殆んど變化なく銀行株は堅保合、臺電は配當期に入り買氣を呼び第二期工事の經費が豫定より安くあがる點及社債の低利借替による利益、今後の電氣收入増加など買はれて久振り額面復活一時の安値より二圓方奔騰して東邦人造絹絲三圓七十錢を安値として誘らか引締り氣味となり砂糖株では改良についても富む製糖が割安から買氣を呼び出二圓七十錢五十錢高を揚げたるを始め概ね二三流の割安物が引締つてゐる、最近の取引中値は次の通りである

	拂込	中値
臺銀	一〇〇・〇	七八・三〇
同新	七五・五	五五・七〇
勸銀	五〇・〇	八九・七〇
同新	一二・五	二三・五〇
三和銀	五〇・〇	五七・三〇
同新	一五・〇	二六・〇〇
同二新	一二・五	一三・六〇
商工銀	五〇・〇	二一・二〇
同新	三七・五	一五・〇〇
同二新	一二・五	一五・九〇
彰化銀	五〇・〇	二八・〇〇
同新	二五・〇	一四・〇〇
華南銀	三七・五	九・二〇

	拂込	中値
貯蓄銀	一二・五	八・七〇
興業信託	一二・五	三・〇〇
臺灣土地建物	五〇・〇	一九・五〇
打狗土地	一五・〇	四二・〇〇
臺灣電力	五〇・〇	五〇・五〇
合同電氣	一二・五	一五・二〇
同新	四二・五	五三・〇〇
臺灣電燈	五〇・〇	一一・九〇
臺灣瓦斯	一二・五	二二・〇〇
臺灣製腦	一二・五	三・八〇
臺灣煉瓦	五〇・〇	三三・八〇
同新株	一二・五	八・六〇
臺灣軌道	一〇・〇	一〇・八〇
臺北鐵道	一二・五	四・五〇
新高軌道	二〇・〇	二二・〇〇
臺灣製紙	二〇・〇	一二・五〇
臺灣製鹽	五〇・〇	四七・〇〇
臺灣水產	二五・〇	四・〇〇
海南製粉	三三・五	七・三〇
日本拓殖	三七・五	一〇・六〇
臺灣肥料	五〇・〇	五・七〇
臺灣鐵工	二〇・〇	一七・六〇
臺陽礦業	四二・五	一九・五〇
同新	五〇・〇	九・六〇
基隆炭礦	二五・〇	五五・〇〇
同新	五〇・〇	二六・〇〇
臺灣炭業	二五・〇	二九・〇〇
大正礦油	一二・五	四・五〇
大成火災	一二・五	六・五〇
臺灣織物	五〇・〇	二七・〇〇
東光株式	一二・〇	二〇・〇〇
臺灣爆竹	五〇・〇	九・〇〇
同新株	一二・五	一五・〇〇
基隆船渠	四八・五	三八・〇〇
臺中輕鐵	四〇・〇	二九・〇〇
南部無盡	二〇・〇	二〇・〇〇
中央市場	一二・五	一一・〇〇
昭和家畜	一二・五	一〇・五〇
勸業無盡	一五・〇	一一・〇〇
高砂麥酒	五〇・〇	一一・六〇
臺灣倉庫	五〇・〇	四四・五〇
南洋倉庫	五〇・〇	二三・三〇
同優先株	一二・五	四九・五〇
東洋自動車	一二・五	二五・〇〇
東邦人造纖維	一二・五	一二・五〇
鹽水港製糖	五〇・〇	四・一〇
同新	一二・五	三三・三〇
昭和製糖	五〇・〇	八・〇〇
沙鹿製糖	五〇・〇	一四・一〇
臺東製糖	五〇・〇	一三・二〇
南洋興發	五〇・〇	三八・五〇
北海道製糖	五〇・〇	六六・五〇
臺電社債第十回	一〇〇・〇	一〇〇・四〇

又も蘭印政府 輸入制限企圖 バーター制を加味

在バタビヤ我が貿易通信員から商工省に入つた情報によれば蘭印政府は新にバーター制を加味する綿布輸入制限を企圖し日本に割當し一割程度とし、これ以上の輸入量に對しては蘭印産の相當輸入を要求せんとするの意圖ありと傳へられてゐるが、昨年の會商にも此のバーター制を採用して或る數量を天引の後殘餘を按分割當てるの主張あり前記の噂も全然空說とはなし得ざる模様である因に最近蘭伊間の通商條約に所謂バーター說を結びつけて伊、蘭印間の諒解なく伊太利の人絹及加工綿布等を蘭印へ輸入する事を阻止するために日本品輸入を制限してこれに代らしめんとする企圖なりとする說又は蘭人人絹會社は外國品の共同ダンピングの苦境に陥れるが故に救濟方を經濟大臣に請ふ等の事あり之等が本企圖の原因であらうと推測されてゐる

帝國東洋 兩生保合併 商工省の認可を得て最終的決定

【東京二十五日發本社特電】豫て帝國生命と東洋生命との間に合併交渉が進められつゝあつたがこの程兩社幹部の意見一致を見、包括移轉を目標として愈々正式に合併することとなつたので近く正式合併交渉が開始されることとなつた而してこれが最終的決定に就いては監督官廳たる商工省の内認可を必要とするので稻目合併條件その他に關しては商工省保險局とも打合せの上決定する筈である

棉花栽培奬勵 講話會開催

臺南州農務課では左記日割で棉花栽培奬勵講話會を開く由

- 二十六日 午前水上庄外從州、午後同劉子林
- 二十七日 午前大林庄中林、午後同甘蔗崙
- 二十八日 午前新營庄鐵線橋、午後同舊廍
- 二十九日 午前後口庄溪林、
- 三十日 午前民雄庄林子尾

北洋漁業の新漁業開拓案

【東京二十五日發本社特電】北洋における露國漁業の發展に伴つて北洋の鮭鱒漁業の發達に比し出漁の新漁場への進出を頻りに計劃し、殊にアラスカ方面に出漁すべく昨年末ブラスカ、ブリストル灣へ出漁許可を農林省に提出したので、農林省でも調査を行つてゐたが同方面は未だ漁場としての價値が疑問の上アメリカ領海に近き爲め微妙な國際關係もあるのでその都度出願を却下してゐるが、二十四日資源關係當局の關係方面への出漁は絶對不許可の方針を決定した、右不許可の理由は前記の漁場としての價値如何と國際關係に依るものであるが、農林省としては此の際積極的に同方面の漁場調査を行ひ、將來方針を確立の爲め來年度より三ケ年に亘り監視船を派遣することとなつた

萬なかだち

求店員 内地人自十六七歳至二十五歳身元保證人有者 臺北市樺山町 金森商會

女給募集 給料付き前貸金の相談に應ず 臺北大和町三の二 大和館方

外務員招聘 手腕により活動費金百圓迄給與 歴遊者歡迎來談所名在社

外務 内地人青年三十五歳迄の經驗者數名採用本人來談 臺北市本町二ノ一 文化商會

女會計 募集年齡十五歳より廿五歳迄希望者面談 株式會社高報社 電話一一〇二番

貸地 昭和旅出所向水道瓦斯有 坪數へ所あり 電話四八七 大田

讓店 飲食店格安讓たし 新起町二丁目通三〇七八 奥山商店

文壇人 映畫人・流行歌手等々 人氣者だより

▲山路ふみ子氏―新興の大スターとして映畫生活に忙殺されながらも最近感ずるところあつて、過去を赤裸々に公開した自叙傳を執筆、八月十九日發賣の講談倶樂部臨時増刊に發表した。映畫ファンの間に早くも大評判を呼んでゐる

▲川口松太郎氏―秘藏の題材を投出して執筆した三味線やくざを講談倶樂部の臨時増刊に發表。

▲神田伯龍氏―氏十八番の講談「夏小僧次郎吉」「分銅伊勢屋」を講談倶樂部臨時増刊の爲に熱演讀物。

▲藤山一郎氏―自叙傳執筆「講談倶樂部」の増刊に發表。

▲子母澤寛氏、竹田敏彦氏、加藤武雄氏、三上於莵吉氏、中野實氏、國枝史郎氏、明石鐵也氏、佐々木味津三氏、正木不如丘氏、土師清二氏、長谷川伸氏、大佛次郎氏、高木定夫氏、何れも講談倶樂部の臨時増刊に執筆してゐる。定價六十錢。

これこそ日本一 優秀製―クラウン万年筆

現在日本には各種各様の万年筆がある。本場の外人が日本品を手土産に買つてかへる位だから相當なものだ、その群居の中にあつて最もスマートな優秀製で舶來品に比して遜色がなく、万年筆としての必須條件を完全に備へてゐるのがクラウン万年筆である。紳士用、學生用、事務用として最適品であり、殊にクラウン万年筆の姉妹品に、日本文字でも横文字でも「書きよく錆びず、強くて、値の安い」優秀國產ペン先の王座に位する、ムッソリーニ・ペンがある。この二種は國產品の製造元は大阪株式會社澤井商店である。

がうとう ぐんかん
強盗と軍艦

一人の強盗を捕へる爲に、どれほどの費用が掛るものであるかを、諸君は考へたことがありますか。強盗にもピンからキリまであつて、いちがいには言へないが、例のピストル強盗とか說教強盗のやうな兇惡な奴になると、馬鹿々々しい程の金を喰ふのである。國民の淨財で献納する重爆撃機一臺ぐらゐの費用は、ちよつとした兇賊檢擧にフッ飛んで仕舞ふ。一年間犯罪が無かつたら、軍艦の三つや四つは立ちどころに出來る。單にお金の問題だけではなく、檢察當局が善良な民衆の生活を保障するために、どれほどの精力と犧牲を拂つてゐるかといふ事が、今度の防犯科學全集で明らかにされた。誠に結構な出版と至る所で好評を博してゐます。

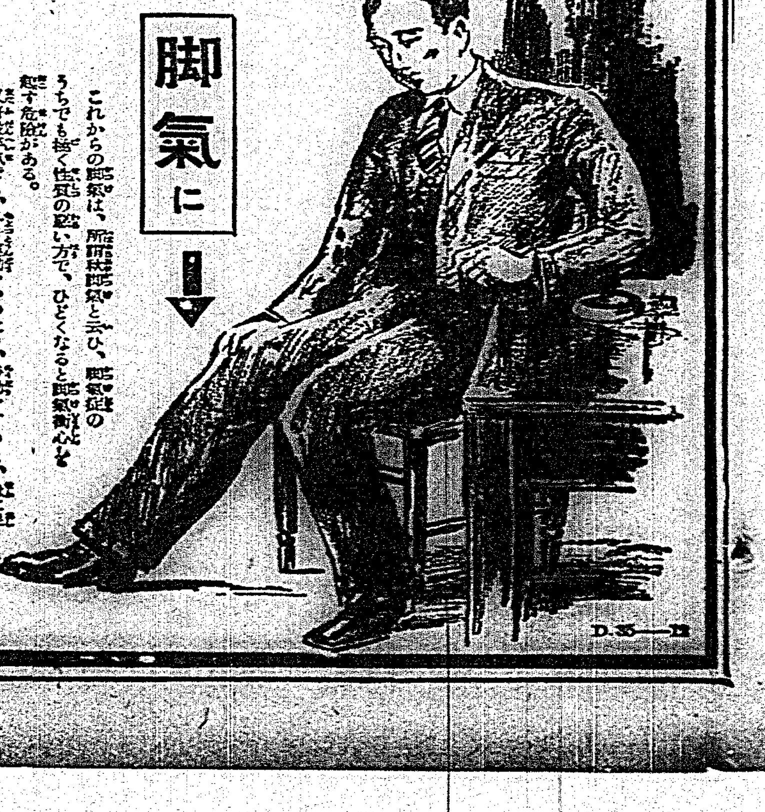
防犯科學全集・第一回 「強力犯」篇 大好評 遂に十版突破 東京丸ビル 中央公論社發行 振替東京三四番 實物と內容見本は全國書店にあり

マツダランプの ギバ体温計

賣つて安心 買つて滿足
總督府撰定 優良國產品
全國計量器店・藥店にあり
ヒステリーには はれやか
本舖 日本醫療電氣株式會社 東京 銀座

クラウン 万年筆

純國產品
錆びず……スラ〳〵書けて 耐久力は絕大……
純國產優秀万年筆
體裁優美……堅牢……
內外文房具問屋 株式會社 澤井商店 大阪市南區安堂寺橋通三丁目

脚氣に


これからの脚氣は、所謂衝心脚氣と云ひ、脚氣症のうちでも最も性質の惡い方で、ひどくなると脚氣衝心を起す危險がある。又脚氣平素でも、一寸運動をやつたり、勞働をすると、急に足がしびれ心臟が弱くなつて思はぬ災害を被る潜伏脚氣も油斷出來ない――脚氣は、ヴイタミンBが不足する白米食が主因だから、ヴイタミンBを多量に含有する「米の母」が最適である。そして恰度二日酔ひが酒精中にあるフウセル油が體内に殘留作用するやうに、脚氣は腸内にメチルグリオキザールが殘留して病氣を釀すが、「米の母」の含む特殊イノシツトは、これを體外に排出する強力な機能を持つてゐる

衰退した胃腸に

食慾不振は、どんな胃腸の病氣にも附きものですが、最近、ヴイタミンBが缺乏すると食慾が著しく減退して來ることが動物試驗ばかりでなく、人體試驗でも確められました。消化力が鈍り、吸收の機能が減退し、便通が不調になると、栄養不良に陥つて種々の疾病を招く。「米の母」は、ヴイタミンBに非常に富んでをり、その豐富な作用によつて胃腸の運動を活潑にするばかりでなく、胃液の分泌を旺盛にして根本的に胃腸を健全にしますから、如何なる原因による食慾不振に對しても、最も合理的の食慾亢進劑として第一に推奬さるべきものであります。その上、多種多様の消化酵素を含み、榮養素に富んでゐますので一層理想的です。

片倉の 米の母
一歩進んだ榮養劑

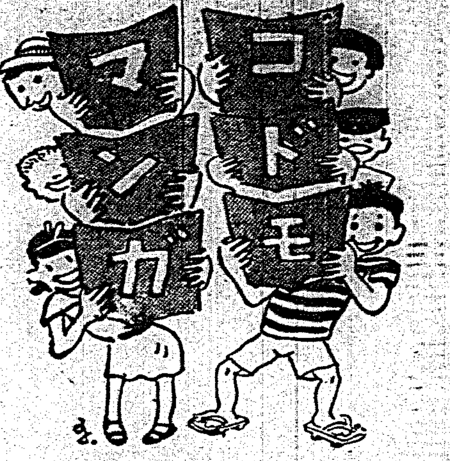
「米の母」はヴイタミンBを主劑とし各種活性消化酵素は胃腸を整へカルシウム、マンガン、鐵は骨骼の組成、造血の作用を有ち、ケファリン、フイチン、レチチンは腦神經の重要素、殊にケファリンは神經榮養劑として知らるる外、腸管内に於て赤痢菌、その他アミーバ菌を撲滅する作用を有しレチチンはホルモン分泌促進劑として又、胃の神經を刺戟することにより偏食を防ぐ、毎食後の一匙又は每朝の炊飯(五合に付一匙宛)に投與することは榮養の完備と健胃、整腸に最も理想的であります

主効 慢性胃腸カタル、消化不良、食慾不振、常習便秘、下痢、浮腫脚氣、麻痺脚氣、妊産婦の脚氣、乳兒脚氣、

粉末「米の母」
藥價 五〇瓦 九〇錢 二二〇瓦 二圓四〇錢 (全部)

發賣元 東京・京橋 片倉榮養化學研究所

藥店、百貨店藥品部及び白米店にあり、品切の節は直接發賣元へ御注文下さい。(振替東京三三八二二番)



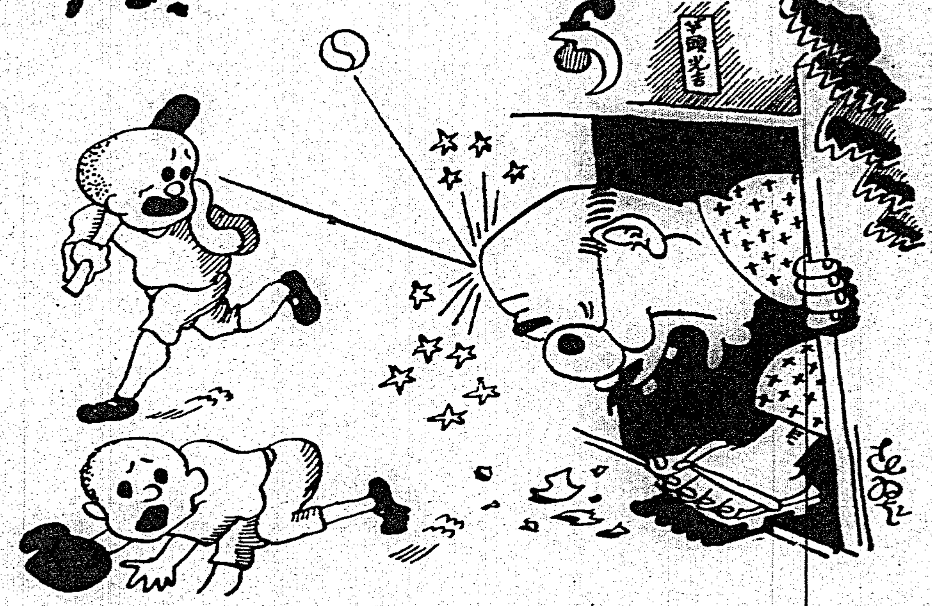
ノムラ・コウー(編)

戰爭ゴッコ

「エチオピアとイタリーの戰爭ごつこするんだけどみんな黒いのばかりでつまんないやア」
「あたい白粉、持つて來たわヨ」

せみとり

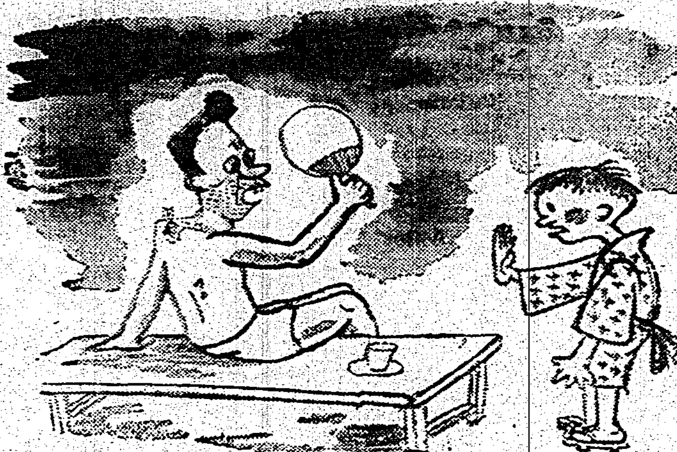
店子の伜「君んちの木に蟬がとまつてゐるのとらしてくれない」
家主の伜「家賃ををさめてゐる家の子だけとらせろとチヤン云つてゐるよ」
「ちやかへつて聞いてくらア」



芋國主人「コラッ。ダレダ。ワウチノ「モントウ」ノガラスヲ。ワッタノハ……」と。どなつて頭を出すところを「カクツンーキユーワ」

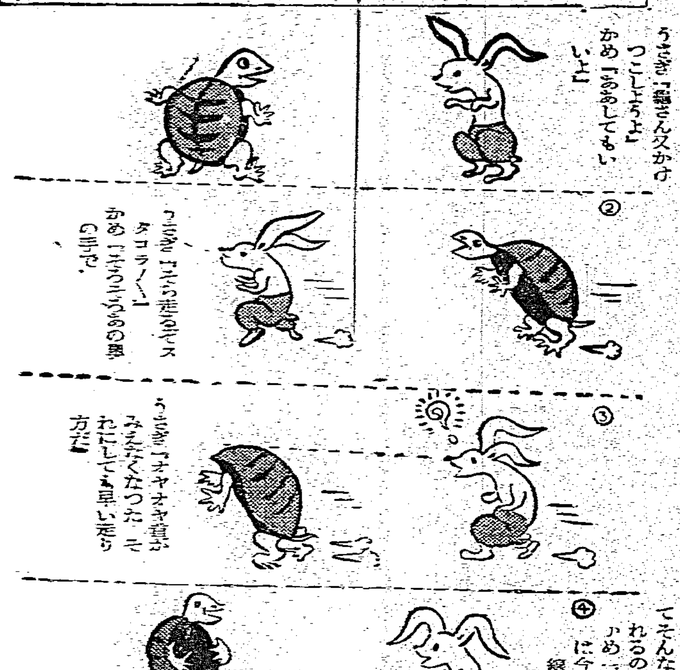
騷音防止

「まアお前赤ちやんのお口をしばつたりして」
「自動車も大きな音たてないでせう、だから、赤ちやんの泣聲もとめてるのよ」



親不孝になる

「お父さんの背中を刺してゐる蚊をたたいておくれ」
「親に手をかけるのは親不孝だと先生が云つたからいやだよ」



その後の兎と龜

① うさぎ「龜さん又かけつこしようよ」
かめ「ああしてもいいよ」

② うさぎ「さア走るぞ、スタコラ／＼」
かめ「そろ／＼この手で。」

③ うさぎ「オヤオヤ龜がみえなくなつた　それにしても早い走り方だ」

④ うさぎ「こんどはとてもかなわね」
かめさん「一體どうしてそんなに早く走れるの」
かめ「エヘン僕は今流行の流線型になつたのさ」

アメ

「オカアチヤン、アメガフツテキタヨ」
「カサヲオサシナサイ」
「ワカンナイナア」
「アンレマア」

黒髪を保護せよ！

強烈な太陽の熱と汗の醱酵、海水と潮風、夏は黒髪の危險期です！

この時期に毛髪のお手入れを怠ると、不快なフケ、痒み、脱毛等の毛髪疾患を誘起し、赤毛、切れ毛になつてしまひます。誰方もお忘れなく「ワカミツ」を御常用下さい。

「ワカミツ」は一番新しい科學と實驗から生れた近代人の養毛料で、毛髪を清潔にし、毛根に榮養を與へて毛髪の發生伸長を促進し、不快なフケ、脱毛、痒み等の毛髪疾患を治療し、而も爽快なつけ心地とステキな芳香をもち、進んで艶々と若々しい美髪を築ふ養毛料です。

近代人の美髪料としては勿論フケ・拔け毛・痒み止めに・毛生に誰方も「ワカミツ」を御愛用下さい。

醫學博士 井上[illegible]先生 創製

有名藥店にあり

定價 ¥1.50 ¥2.70

近代人の手離せぬ最新養毛料

ワカミツ

發賣元 大日本[illegible] 合名會社

W24

苦勞した白粉

◇それも今では憶出

市川壽美藏丈

私共俳優とお化粧品、特に白粉とは切つても切れない關係にあります。それだけに之で白粉の話しとなると、まア大抵の御婦人には敗けない自信があります。

はやい話が芝居道に入つてから何十年、白粉では苦勞しつゞけて參つて居ります譯で、お化粧の話しになると却々盡きない話題もあらうと云つた次第でございます。

それでお目にかゝる御婦人每―殆んど御婦人每と云つていゝ程の皆様から、よくお化粧の話し、ひいては白粉は何といふのが宜いのか、貴君が今使つてゐる白粉は何といふのか、と云つた樣なお尋ねに與かるのも、まア當然かとも思ふのですが、以前は之が却々何といふ白粉を使つてるて、そして私は何といふ白粉が一番宜いと思ふといふ事は部然とは申上げられなかつたものです。と云ふのが之に限るといふ程の物に當らず、從つて彼此併用致して居たからです。

ところが數年前からは斷然之に限る、と云ふ白粉が出來まして、もう其ればかりで、文字通りに愛用して居りますから、其後は何方にも躊躇無しに白粉やクリームはサーワに限ります、といふ樣にお答へも致し、進んでお奬めもして居る譯です。

實際サーワ白粉と申しましたが、もう御存知の方の方がお多からうと思ひます僕の二號化粧チタニウム主劑の一番新しい白粉の事で、私共舞臺で使つてもう批の打ち所が無い程のものですから醫學者も保證用として聽からう道理がありません。ノビが[illegible]に宜しいから普通の三分の一量で充分間に合ひます。如何に自然な美化粧が出來るかといふ事が之丈でも分らうと云つたもの、細かな分子ですから却々崩れません。私共の濃化粧で汗がポト／＼落ちても全く平氣なものです。之も分子が細かいから毛孔を塞がないからだと申す事です。

それに全くの無鉛ですし、何の點から云つても無害といふ事が一層の強味です。論より證據使つて見るとすぐお分りです。

壽美藏先生

市川壽美藏丈は廿五日午前十時本社で開催中の婦人連盟主催常識講座で、仕ぐさ宜しく「歌舞伎の話」―女形の苦心から女優との比較などを小二時間辯じたが一休みの控室でも女形の白粉の塗り方を更に一席辯じて正午ごろ出演中の有樂座へ引き上げた(寫眞は壽美藏丈を中心に)

東京日日新聞七月二十六日附夕刊より轉載。

東京日日新聞社撮影

類のない魅力

◇一度使つたら止められぬ

夏川靜江孃

私は石鹸に就いて前から斯んな考へを持つて居ります、使ひ心地のよい石鹸が結局品質に於ても最も秀れた石鹸なのではないかと。

言換へると、優秀石鹸ならばきつと使ひ心地も素晴しい筈だと思ふので御座います。これは私がミツワ石鹸を愛用して得た經驗から申上げる譯ですが、ミツワの使ひ心地は皆様もよく御存知のことゝ存じます。どんな場合でも氣持よく泡立つ細やかな眞白い泡、その溶け具合の滑らかさ、肌にあたる爽やかな感觸、何とも申せない洗練された感じで御座います。

あれを使つてゐると、トテモ他の石鹸を使ふ氣がしない、といふ事は私ばかりでなく隨分御有つてゐる方が御座いますが、それには此の使ひ心地のよさが大きな原因になつてゐると思ひます。しかし石鹸を使ふ目的は云ふまでもなく身體の汚や脂肪などを適當に洗滌し皮膚の健康とそれから美しさとを保つのが第一なのですから、使ひ心地だけで石鹸の價値を定める譯には參りません。

私の申上げたいのは此點で、石鹸の性能として何よりも大切な「作用が緩和で而も落ちがよく」專門家や一流のお化粧人の方々に認められてゐるのが矢張り此の「使ひ心地の最も素晴しい」ミツワ石鹸であることを、私は此上もなく愉快に思ふので御座います。

これを使つて居りますと何時も肌がサツパリと生々した感じで、お化粧も非常に調子よく出來ますので、私は洗顔や入浴は必ず此石鹸で致し、後へサーワの化粧水を付けますが、お蔭でお化粧肌の心配は少しも御座いません。

サーワの園粧色味(白・肌)二種、本と粉白粉色味(白・肌・黄肌・濃肌)各四種づつ、他にヴアニシングクリームとクリーム白粉、以上十二種何れも[illegible]封入、東京市日本橋區[illegible]ミツワ石鹸本舗丸見屋商店へ[illegible]呈進いたします

都會化粧 (50)

岸田國士 作　田中良 畫

「愛と偶然の戯れ」(三)

すると、東助君は、むつとした顔付で、
「そんなお説教は聴きたかないよ。それより、君は、今何してたんだい？」
「いろ〳〵やつたなあ。」
と、一方は、無頓着に答へて、相手の肩へ手をのせた。
「まあ、そいつは、ゆつくり話すから、そのへんで飯でも食はう。ヘツ、から見えて、懐にや、大枚八十何錢あるんだぜ。」
「僕は十一錢しかないんだ。それ使つちまつたら、下宿へ歸る電車賃がなくなるよ。」
「オーライ。そこの食堂でランチをおごるとしよう。」
「いやだ。君におごつて貰ふわけはないよ。」
「この次ぎ、お前がおごるさ。まあ、二人が友達になれるかどうか一度試り合つてみやうぢやねえか。」
簡易食堂の一隅に陣取つた、この二人の求職青年は、ランチの皿が運ばれるまで、ぼつりぼつりと會話を續けた。
「なあ、おい、心配するなよ。おれを與太者だと思つて警戒してるんだらう。さう見えるかも知れないが、そいつは、見當違ひだぜ。別に立派な身分でもないが、これで、いつぱし、人間修業をやつてゐるつもりなんだ。おれはなあ、學校は中學しかやつてないが、それも卒業間際に、やめちまつたんだ。だから、お前のやうに學問はないさ。だが、おれは學問で世渡りはしない覺悟だ。第一、世渡りなんぞ、どうだつていいと思つてる。生きてるうちに、一度でいいから、胸のすくやうなことをしてみたいんだ。人から見たら下らないことでも、自分だけが、うんと得意になれるやうな、一か八かの緊張をやつて、その上で死んぢまいたいんだ。おれの親爺は、おれが生れてから、月に二、三度位顔を見せるきり、一體何商賣で何をしてるのか、さつぱりわからない親爺だつた。今から考へると、おれのお袋つていふのは、つまり、親爺の妾だつたんだ。そのお袋は、なるほど、おれを可愛がつた。しかしおれの知らない間に、つまり、おれが二年前に家を飛び出て東京へ来てる間に、行方不明になつちめえやがつたのさ。」
「どうして家を出たんだい、君は？」
「それがよ。つまらねえ話さ。」としばらく、愛助君は、記憶の綫を手繰るやうに、眼を空に注いで、
「中學を出るつていふ年の春だ。田舎さ、それが……。無論、同じ町を通る女學生で、一人、素的なシャンがゐてなあ、そいつの顔を見ると、じいんとかう、胸が痛くなりやがるのさ。話しかけようと思つても、相手は妙に隙を見せないと来てる。それでも、ほうつとくのは癪だと思つたから、たうとう、ある時、學校の歸り道に……」
そこへ、註文の皿が投げ出された。
「まあ、その先は、腹をこしらへてからにしよう。」
と、あたりへ、ギロリと、不安な一瞥を投げて、彼は、鉛色のフオークを取り上げた。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ…臺北觀測所發表
【六・二〇】夏季特別講座(臺北)孝經講義(第六講)臺北帝國大學教授今村完道
【七・〇〇】夏休み小公學生時間(臺北)四年算方…増田十六
【七・二〇】全國氣象通報(東京)
【七・二五】夏休み小公學生時間(臺北)一、二年算方…金井宗策
【八・〇〇】家庭メモ(東京)
【九・二〇】[illegible](臺北)大澤貞吉
【一〇・〇〇】家庭料理獻立(臺北)第一高女金村カネ案 △團子と南瓜の酢物
【一一・〇〇】日用品小賣値段(各局)商業案内事項(各局)午後のプログラム紹介(各局)

午後の部

【一一・五九】正午の時報、氣象通報…臺北觀測所發表
【〇・〇一】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】慰問娛樂時間(レコード演奏)△歌謠曲 一、朝やけ(大木淳夫作詞、阿部武雄作曲)二、山は男よ(清水みのる作詞、森義八郎作曲)小澤秀夫 三、ためらふ勿れ若人よ(西田保作詞、坂井…作曲)ポリドール・リズム・ボーイズ 四、夢の小舟(サトウハチロー作詞、近藤政二郎作曲)渡邊光子 五、情熱の不知火(佐伯孝夫作詞、高橋なかば作曲)松本金三郎 六、丸山そめき(佐伯服みつる作詞、高橋なかば作曲)新橋喜代三 七、月夜の港(河内義之輔作詞、久保田公平作曲)東海林太郎
【〇・五〇】經濟市況に引續き、内臺定期船基隆入港時刻と接續列車時刻のお知らせ…鐵道部運輸課發表
【二・四〇】全國氣象通報(東京)
【五・〇〇】子供の時間(大阪)山の便り、水の便り(第七回)…琵琶湖、子供のテキスト十九ページ琵琶湖畔三井寺下より中繼
【五・二〇】コドモの新聞(東京)…駒屋五十二
【五・二五】趣味講座(東京)…難産で珍妙だつた一高入學試驗の想ひ出…内海弘藏
【五・五五】カレント・トピックス(東京)

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間(臺北)連續少年冒險物語「雷龍の首」安部季雄原作(第十一回)西山力
【六・二〇】講演(臺中)法と裁判とについて…臺中地方法院長鹽澤榮三郎
【六・五〇】清元(東京)須磨…清元梅代太夫外
【七・二〇】物語 大阪 釣鐘草(吉屋信子作)夏川靜江、伴奏大阪ラヂオ・オーケストラ、作曲並指揮宮原禎次
【八・〇〇】涼み臺一同一盤(東京)漫談…花柳章太郎、木村莊八
【八・二〇】時報(東京)
【八・二一】長唄(臺北)(臺北 臺中)秋の色種 唄楯野文子、三味線杵屋六多惠、同寶喜小文、上調子新喜樂千扇
【八・三一】長唄(嘉南のみ)一、松の綠…唄魚住ツウ、三味線杵屋正里、囃清香二、操り三番…唄喜蝶、三味線由丸、ラヂオ、笛かるた、小鼓露き小豆、大鼓園菊太鼓都
【八・五五】素人形實(臺北)宋朝時代、乾坤寶鏡記、天秋 寒梢、九嬰、伴奏小西園團員
【九・二〇】氣象通報(臺北觀測所發表)放送局編輯ニュース(各局)公示並告知事項(各局)明日のプログラム發表(各局)、新聞社提供ニュース

新刊紹介

◆詩海慈航 謝雪漁著 本書は漢詩の沿革並に作詩法を漢文にて正確丁寧に講述したもので漢詩に志ある方面には好箇の手引書である 著者は現在の臺灣漢詩人中では有數な人であり、長年本社漢文部に於て詩壇をも擔當してゐた 本書は上巻で下巻は引續き日下刊行中(兩六判百余頁定價金二圓臺北市蓬萊町二一番地事務所)

第拾四回レントゲン講習會
場所 京都市河原町二條南 島津製作所本店研究室
日時 自昭和八年九月拾日至同月拾九日 拾日間
資格 醫師及醫學生在勤技術者
定員 百名
會費 金五圓(申込ノ節前納ノコト)
申込期限 昭和八年九月参拾日
申込所 京都市河原町二條南 島津製作所
講師 醫學博士 浦野多門治氏　醫學博士 安井修平氏　醫學博士 岩井孝義氏(京都帝大)　醫學博士 渡邊[illegible]　醫學士 大森[illegible]　醫學博士 園戸[illegible]　醫學博士 後藤五郎氏　醫學博士 長谷正道氏(大阪醫大)
主催 株式會社 島津製作所

腸の危機に
慢性の胃腸病で永年の間種々盡せども一向捗々しくないときにダイモールをお勧めします。
急性の腸カタールで腹痛・下痢の場合には實に頓座的効果を現わします。
其他チフス・赤痢の豫防に、腹部雷鳴の治療に、水あたり、食あたりの常備として是非ダイモールを!!!
ダイモール
發賣元 株式會社鳥居商店 東京市日本橋區本町三丁目

大阪著名問屋案内

印入專門 タオル ハンカチーフ フロシキ 各木綿
大阪市北久太郎町心齋橋筋 植田仁本店 電話船場四〇四〇番 (カタログ呈)

シエム印 ゴムバンド 日産一萬封度 製造直賣
大阪市西區南堀江木綿橋 合資會社 村林ゴム工業所 (見本送呈) 神戸工場

信用アル 卸のデパート 日本百貨均一卸協會
販賣仕入ニ各種商品 報一冊ニテ足ル
大阪市東區久寶寺町二丁目

錢入袋物現金問屋
大阪市東區博勞町二ノ二六 廣島屋本店 (西報送呈)

安全界で一番良い 萬力作業服
大阪市堀江新町 鋸太平商會

ランプ一式 製造卸
大阪市西區尻無川筋 中山ランプ店 (カタログ送呈)

捻子・鋲・五金具類 諸機械及自動車用品一式
大阪市西區新町通 福住商店

眩暈に はれやか 胃腸にわかもと

森永ミルクキャラメル 五錢・十錢
夏休みの訓へ 困難に負けるな どこまでもがまんづよく

イダ芳香油 くさみ止 便所 臭氣を止め芳香を發す

景品附特賣
天下一品 キッコーマン醤油
大樽一樽 御買上毎に 洋式野菜丼 一個
小樽一樽 御買上毎に ベルベット石鹸 五個
半樽一樽 御買上毎に 同 二個
八立罐一罐 御買上毎に 同 二個
五立壜一本 御買上毎に 同 二個
二立壜一本 御買上毎に 同 一個
黒壜二本 御買上毎に 同 一個
洩れなく進呈
特賣區域 台灣全島
宮内省御用達 野田醤油株式會社

專賣特許の美味滋養料
高橋孝太郎博士創製
産前産後に
姙婦の榮養料と、産後衰弱體の恢復には「とりこの」が一番です
姙婦になぜ良いか
姙婦は俗に二人口と云はれる程で、胎兒の發育の爲めに母體の榮養がどん〳〵消費されるので、ふだんよりも多く榮養分を採らねばならないのです。ところが身體が衰弱して居るために思ふ様に榮養物を消化吸收する力もありませんし、又大部分の人はつはりを起して普通の食事さへ採れない有様なのです。こんな時に「とりこの」を召上ればつはりを起さずに美味しく召上れ、弱つた消化機能でも充分に榮養を吸收する事が出來ますから、母體の保健上にも又胎兒の發育上にもこの「とりこの」こそ最も適した大滋養料と云ふ事が出來ます。
産後になぜ良いか
お産のあとは母體が非常に疲勞衰弱して居りますから、一日も早くこの衰弱體を恢復しなければなりません。然し折角の滋養物も消化されなくては何の役にも立ちません。元來如何なる食物も胃腸の働きで一旦葡萄糖に變化されてから始めて榮養として吸收されるものですが、「とりこの」は葡萄糖、果糖の單糖類が主成分の滋養飲料ですから、胃腸の消化勞力をはぶいて大部分が早く吸收され力がつくために、理想的な滋養料と云ふ事が出來ます。其の上非常に美味しいお飲物ですからキツト誰方にも好まれ、早く恢復となりお乳の出も良くなつてまゐります。
其他こんな方はゼヒ召上れ!
夏やせ、暑さまけの方、胃腸の弱い方、お子様の發育保健に、虚弱腺病體質の方、結核性諸症の方、スポーツ・事務等による疲勞の恢復に、乳兒の人工榮養に、老衰の方、病氣御見舞品に
定價 一圓二十錢・二圓(普通二斤入)
「とりこの」は全國著名藥店・食料品店にあり
とりこの
發賣元 東京・小石川 大日本雄辯會講談社商事部 臺灣總代理店 臺北市榮町 藤田商店

胃腸を強くする 頭の榮養劑

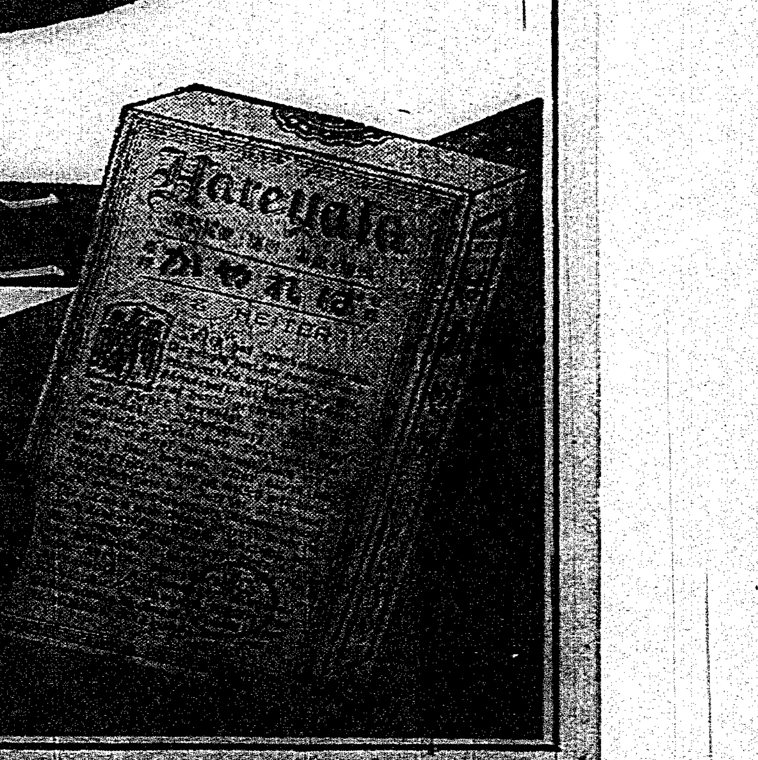
はれやか

獨逸原名 ハイテル

今が一番多い時！ こわい時！

づつう めまひ

二十錢(粉末)新發賣



副作用ある

頭痛鎭靜藥と頭腦榮養劑はどう異ふか

づつうやめまひは今が一番多い時季である事は申す迄もありませんが、元來づつうめまひ等を一時的に緩和し抑へる程度なら難しい問題でなく、例へば腦血管を藥物で麻痺するとか腦神經を一時麻痺させれば事足りるのです。

是が 今迄市販され重寶がられた所謂頭痛鎭靜劑でありました。之は一時抑へには好都合でありますけれども藥の副作用で胃腸をたゞらす危險な副作用が恐ろしいですから呉れぐも注意しなければなりません。元來頭痛めまひ等いろいろな症狀に腦の主たる鐵化合物、カルシウムの不足、及び胃腸障害にもとづく體内毒素の影響といふ二つの大きな

原因 に發するものであります。然るに今までの頭痛藥（いはゆる鎭靜劑）は此原因を少しも排へず單に腦血管を麻痺的にひろげたり、神經を麻痺して痛みを殺したりするだけで、しかも濫用すると頭痛と相關關係淺からぬ胃腸を容赦なしに衰弱させるのであります。

たださへ一年中で一番胃腸をこわし易い暑さどき、頭の症狀に大した効果を期待し得ず、胃腸に危險な副作用のはつきりした頭痛藥をまだ用ひ續けて行く氣になりますか。

それも頭痛病源學――頭の補給と胃腸強化の綜合効果ある「はれやか」が發明されなかつた時代なら止むを得ませんが、現在は最早鎭靜劑の時代ではありません。

ロ

「はれやか」は胃腸を丈夫に導くはたらきを多分に保有するめづらしい綜合成劑として代表的なものです。之を持用して居りますと胃腸が強壮として疲れは回復し次第に頭腦の調子が好轉してまゐるのであります。

一時的な抑へにはちよつと便利だが連服すると副作用の恐ろしい單一頭痛藥から惱みの根本にも早く効き連服すれば頭腦を榮養的にうるほはせる原因的療法藥へ……藥界進步がもたらす「はれやか」の實用は、各々現代人の忘れてはならぬ事柄と云はねばなりません。

面白い――頭痛療法の進步

【明治以前】は頭痛やめまひがすると梅干を貼りました。之は梅の酸の浸透で極く微力ながら抑制の作用を致しましたが、勿論鎭痛療法と云ふ程のものではありません。

【明治時代】この時代に行はれたのが頭痛膏で、薄荷の浸透收斂性の應用で梅干よりは効果も優れて居り相當賣れました。然し頭痛は便秘の所爲だといふので下劑が流行したのも此の時代ですが何分効果の遲いのが缺點でした

【大正時代】此頃から重寶がられたのが、痛みを一時的に抑へる鎭靜劑、所謂頭痛藥痛止め藥です、これは神經を一時しびらせる解熱藥兼鎭痛藥で當座にすつきりしますが、効果が永持せぬのみか、頭痛と相關的な胃腸を腐らせる恐しい副作用が一般に知れ、一方胃腸をも強化しつゝ頭腦を健かに導く合理的な頭腦榮養劑「はれやか」が發明され、さしもの頭痛藥萬能時代は去りました。

【昭和時代】さて以上色々な頭痛療法の變遷を省みてつくぐ考へさせられる事は、たゞ痛みや不快を無暗と原因も排へずに抑へる療法は絶對成立しない事です。頭痛めまひ、神經衰弱ヒステリーは總て鐵カルシウムといふ榮養素の缺乏が原因で、この重大な病理に基き、有機鐵化合物カルシウム等を腦に直接補給しながら胃腸障害をも恢復に導く綜合効果豊かなの榮養原素を主體に研究創製され、頭腦榮養劑時代を招來した、昭和現代の進步的頭腦藥「はれやか」であります。

藥價低廉

三十錢　五十錢
一圓　二圓
三圓　五圓

「各地藥店デパートにあります。」

主治効能

頭痛、偏頭痛、めまひ
不眠症、二日醉、神經衰弱
ヒステリー、船車暈、疲勞回復
胃腸障害に基く頭痛

試用藥 説明書 試用藥、說明書御希望の方はこの廣告掲載紙を左記販賣元へお送り下さい。

販賣元
東京銀座西一ノ五
日獨醫化學研究所
振替東京二〇〇四二番
電話京橋(56)二八四一・二五〇番

植物園内の土俵に 火花散る大肉彈戰

乙組甲組とも專賣團が優勝

體協臺北支部の相撲爭霸戰

臺灣體協臺北支部主催の第十五回各團體相撲爭霸戰は二十五日午前八時三十分から臺北市植物園内の土俵に於て開催された、出場團體は、田組[illegible]、乙組[illegible]、督府、專賣B組、鐵道B組、金瓜石、專賣、臺北實業團の五團、開會は先づ乙組第一回戰[illegible]の對戰に依つて開始され火花散る壯烈なる

肉彈戰 が繰廣げられ左の如く乙組に於ては二十五點をもつて專賣B組が優勝した、引續いて當日の呼物たる甲組の[illegible]は午後一時より平田（鐵）小磯（專賣）の取組に依つて開始、兩軍共に全國的に名を馳せる一流中の一流選手をずらりと並べて物凄く、この一戰は實質的に全國優勝戰とも目され、各選手必死となつて取組み[illegible]大接戰を演じ立錐の餘地なく觀衆を埋め見物衆の熱狂は其の極に達し興奮裡にたちまち試合は進められ、二回戰六十二と引離された鐵道は三回戰の奮戰はよく[illegible]までに八對七と追迫し大[illegible]の奮戰に[illegible]にて再試合となるを云ふ緊張した場面を展開したが無殘の[illegible]

△乙組

專賣４—４鐵道
督府６—２金瓜石
實業３—５鐵道
專賣７—１督府
金瓜石０—８實業
鐵道５—３督府
實業３—５專賣
金瓜石０—８鐵道
督府４—４實業
專賣８—０金瓜石

一位專賣（二十五點）二位鐵道（二十二點）三位實業（十八點）四位督府（十四點）五位金瓜石（二點）

△甲組

鐵道對專賣團

第一回

小磯（專賣）下手投　平田（鐵）

激しい突き合ひの後平田の寄みた下手投を小磯よくこらへて腰かさず逆に下手投を打てば平田に極つて平田倒る

松林（鐵）突放し　榎木（專賣）　榎木に立上り松林一氣に押して西土俵に追ひ詰め突放して勝

深迫（專賣）下手投　中原（鐵）　立上るや右四つ深迫下手投を鋭く打つて勝

世古口（專賣）寄切り　相馬（鐵）　ガブリと四つに組み世古口ィナン氣味に敵を西土俵に追込み相馬打棄りを試みんとしたが及ばず寄切らる

小磯（專賣）打棄り　大澤（鐵）　物凄い突合ひのうち、兩者額面を負傷して互に鮮血額を染め壯烈なる大相撲となり大澤行司溜りに寄切らんとしたが小澤鋭角の打棄效を奏して小澤勝つ

山本（專賣）押出し　村野（鐵）　山本宵輪に攻めて押さんとしたが村野外して右四つとなるを山本きらつて巧みに外し、東土俵に攻めて押出す

豎平（專賣）吊出し　桑本（鐵）　立上りざま桑本豎平に攻めたが豎平逆に褌みつを取つて難なく吊出す

野崎（鐵）突落し　黒江（專賣）　仕切り直し三回にして立上るや野崎豎平に吊上げて行司溜りに突落せば黒江の巨軀土俵外に轉がる

かくて六對二で專賣は先づ第一回戰に勝つ

第二回

平田（鐵）突倒し　榎木（專賣）　平田の打つた上手投見事に極つたとみえたが榎木よく殘して一氣に行司溜りに攻めて押せば平田からくもこらへてよく突放し正面にて押倒して勝

松林（鐵）叩き込　小磯（專賣）　小磯頭をつけてブツつかるを松林得たりと頭をかわして叩込めば小磯あえなく四つ這ひとなる

中原（鐵）外掛　世古口（專賣）　世古口素早く下手に褌みつを取つて優勢を持したが中原の試みた外掛け見事に極る

相馬（鐵）打棄り　深迫（專賣）　右四つ深迫西土俵で寄切らんとすれば相馬必死に打棄り物云ひとなつたが相馬の勝

山本（專賣）突出し　大澤（鐵）

小澤（專賣）寄出し　村野（鐵）　小澤左下手投を打ち村野の浮き氣味となるを小澤寄出して勝

桑本（鐵）寄倒し　黒江（專賣）　黒江素早く變化しとなつて桑本優勢を持しそのまま寄るを黒江打棄らんとしたが及ばず桑本勝つ

豎平（專賣）寄切り　野崎（鐵）　野崎豎平に土俵溜りにぐつと押し豎平よくこらへて逆に正面に押返し野崎危ふく寄切らんとしたがよく廻り込み俄然大相撲となつたが豎平見事に寄切つて勝

△個人優勝試合

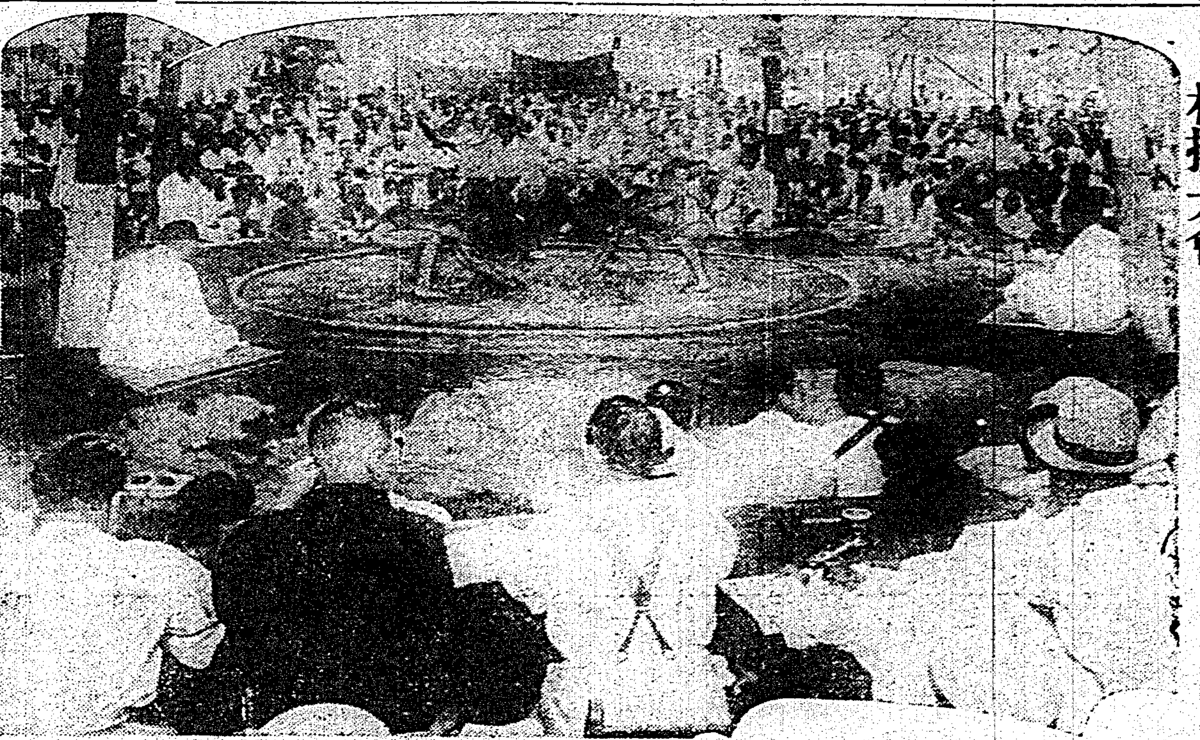
準決勝

豎平（專賣）寄切　松井（專賣）

松林（鐵）突落　野崎（鐵）

決勝戰

豎平（專賣）吊出し　松林（鐵）



相撲大會（廿五日植物園土俵）

潮州郡蕃地は 一溜もなく全滅

未曾有の大損害

【潮州電話】本島南部の颱風は[illegible]、東港、潮州方面下に[illegible]蕃地は[illegible]の如く全滅に近い状況にて同方面の連絡は廿五日に至つても[illegible]と全く杜絶し蕃地は殆ど全壞に陥り慘状を極めてゐると報ぜられてゐる。而も[illegible]の狀況は未だ判明しない[illegible]の交通杜絶と[illegible]により全く孤立の狀態に陥つてゐるが州警務部の調査によれば判明したる外二十五日迄に判明した被害狀況は

潮州郡蕃地ロンガリ、マカザヤザヤ、下パイワン、ヒューマ、南勢頭、内獅頭、チクコウ、リキリキ、草頭、外マリバ、外カシライ、内文、クワバル、若葉ソウタウ、ボタン日等は在所管内は一瞬にして大自然の猛威に一溜もなく打ひしがれ

及びマリバ駐在所の如きは僅かに殘骸を止めた外[illegible]教育所等も相當の被害あるもの、見られてゐる同蕃地の被害は次の通りである

駐在所全壞又は屋根剝落八ヶ所、駐在所大破二ヶ所、交易所全壞一ヶ所、職員宿舍全壞廿一ヶ所、蕃屋全壞又は屋根剝落百四十八、蕃屋大破三十二、半壞百〇二

負傷者　一名半壞家屋二百、倒壞又は屋根剝落三十、教育所全壞三、倒壞相及水稻殆ど全滅し又は屋根飛ばされて大破し樹木電柱の倒壞道路の流失崩壞、農作物の被害等未曾有の大損害を蒙り加ふるに颱風一過後の餘波を受け猛烈なる豪雨の爲め駐在所勤務の警察官家族、蕃人等何れも不安裡に避難してゐる

高雄の漁船が北門郡下に漂着

【臺南電話】高雄市港町漁業組所有の金興丸（一九噸）乘組員西鬼島（?）外六名は十二日高雄港を出帆[illegible]洋上にて颱風に遭遇し二十四日北門郡七股庄頂山[illegible]に押流され二十五日午前二時頃漂着[illegible]したが、乘組員には別條はない、同漁業組合の調べによれば澎湖海中沖合二十海浬洋上に石油發動機船一隻が漂流せるを目撃したと

漸く小降りとなり 臺東街水禍を免る

廿五日夜は徹宵警戒

【臺東電話】二十五日以來の豪雨は二十三日より二十四日に及んで降續いた未曾有の豪雨の爲め臺東地方の各河川は増水氾濫[illegible]しく卑南溪は二十五日、タバラカウ溪十五尺、リカ溪十三尺に及び特に卑南溪の浸水の爲の防水堤防は僅す所一尺になり卑南溪の濁流はネコヨマ以南に氾濫して一面の泥海に化して新開社に迫り益々臺東街も危險に瀕したので街消防組ではモーターサイレン、警鐘等をならし街民に避難準備を警告する手配をなし街民は一刻一刻無氣味の緊張を呈しあはや昨年九月の慘禍を豫想され所は慄然[illegible]消防組、消防組、青年團、

警察官其他の必死の防水作業と幸ひに二十四日午後に至り小降りとなつて河水も漸く幾分か小降りとなつて河水も漸く一、二尺の減水を見るに至り此處に臺東街も危險一髮といふ所で恐るべき水禍から免れほつと一息した師範東地方は風が留ぎたれども雨尚歇まずして天候回復の模樣なく未だ樂觀を許さざるを以て二十五日夜は徹宵警戒して萬一に備ふべく全街を擧げて緊張し切つてゐる

臺東製糖工場の住宅危險に瀕す

職員及び家族ら避難

【臺東二十五日發電】タバラカウ溪に氾濫した洪水は臺東街馬蘭臺東製糖會社工場及び宿舍所在地一帶に迫り浸水家屋四十戶に及び一時同地方は危險に瀕したので同會社職員家族全部は會社工場に避難して減水を待ちつつある

導水鐵管切斷に 今度は水飢饉

慘々な目に遭つた臺東

【臺東二十五日發電】臺東街の水道は二十三日來の豪雨出水により馬蘭先提防附近にて導水鐵管を切斷され分水の已むなきに至りこれが爲め復舊作業はタバラカウ溪の減水を待たねば不可能であるから水道係では取あへず鯉魚山濟水池の貯水を以て時間給水をなしたが現在の貯水量は僅かに三百廿立方尺にして臺東街一日の用を充たすに足らず既る心細き狀態にあるので街當局と緊急協議をなし緊急處置として水道の復舊する迄二十五日より天水及び井戶水を撒水車で各戶に配給することになつたが此の際街民は風水禍に次ぐ水饑饉の苦惱に喘いでゐる

從業員總出で 復舊作業に著手

被害を受けた臺東線

【臺東二十五日發電】臺東線は二十三日來の豪雨の爲め臺東里壠間に於て山崩れ及び築堤流失等被害十數ケ所に及び昨年九月以上の被害を呈してゐるが臺東運輸所では既に從業員總出動して復舊作業に著手してゐるが今の所何時開通し得るか全く見込み立たない、復舊で

ある

減水を見て水道の復舊工事

【臺東廿五日發電】臺東街の水道鐵管の切斷された水害の復舊工事は二十四日午後七時の減水を最後として全く[illegible]

炭坑輕便列車 匪賊に襲はる

邦人三名を拉致

【ハルビン二十五日發】二十四日午前七時半佳木斯對岸蓮江口炭坑行輕便列車が六十キロの地點に差しかかるや共産匪百餘名に襲撃され匪賊は機關銃を亂射し日本人三名を人質として拉致し去つた

金の密輸を企つ

【基隆電話】二十五日午前十時頃山丸出帆直前金の密輸犯人が發覺されたる犯人は臺中市錦町三ノ二五番地福建省支那人洪蘭奎（三〇）で水上署平野梅沢刑事が乘船客身體檢査を行つた所臍下の底に十七兩の金を隱匿してゐたので檢擧を拘引し取調べた所被告は始終基隆厦門間の往復してゐることで以前にも屢々密輸をやつてゐたらしく目下引續き取調べ中

帝都に流腦猖獗し 新患者四十五名

將に恐怖時代を現出

【東京二十五日發】帝都に侵入した流行性腦脊髓膜炎は益々猖獗を極め二十五日午前十時までに新患者四十五名（内五名死亡）を出し總計百五十餘名（内二十五名死亡）を出し當局が必死の豫防手段も全く效果なく恐怖時代を現出してゐる

慘澹たる 大鰐町

弘前地方も悲慘

【大鰐二十四日發】大鰐町を貫く平川堤防の決潰と共に山津浪襲來したため被害甚大となり溺死者は二十三日迄までに二十五名、行方不明二十七名に達したがこの外避難民の殺到した家屋はその儘流失した、之が判明すれば最し[illegible]被害に上る見込である、又五所河原町は岩木町溪谷のため町内及び附近一帶は地上六尺の浸水となり大鰐町に劣らぬ慘狀を呈してゐる

基隆寄港の 歐洲航路船決定す

臺博開催中に三往復

【東京二十五日發】近海郵船では十月十日より十一月二十八日までの五十日間に亙つて開催される始政四十周年記念臺灣博覽會に際し同會期中歐洲航路定期船を左の如く基隆に寄港さす事となつた

△往航基隆著　十月九日箱根丸、同二十二日諏訪丸、十一月六日伏見丸

△復航基隆著　十月十七日宮崎丸、同二十八日照國丸、十一月十六日白山丸

壽岐丸の入港延期

【高雄電話】二十五日朝入港豫定の定期船壽岐丸は荒天によつて入港延期となつた

臺灣全島 模範部落を訪ふ ⑩

イリシンの祭も 教化の力で更生

蕃社にみなぎる時代の空氣

岩澤特派員

その昔イリシン祭と云へば部落の連中老いも若きも總出で一週間から十日位の間は飲めよ騒れのドンチヤン騒ぎ、汗金取りなぞ、えげつない存在も無いんだから困つたかな上にも樂しい蕃族。アミ族教化指導に熱するその講演會なる語子をひもとけば

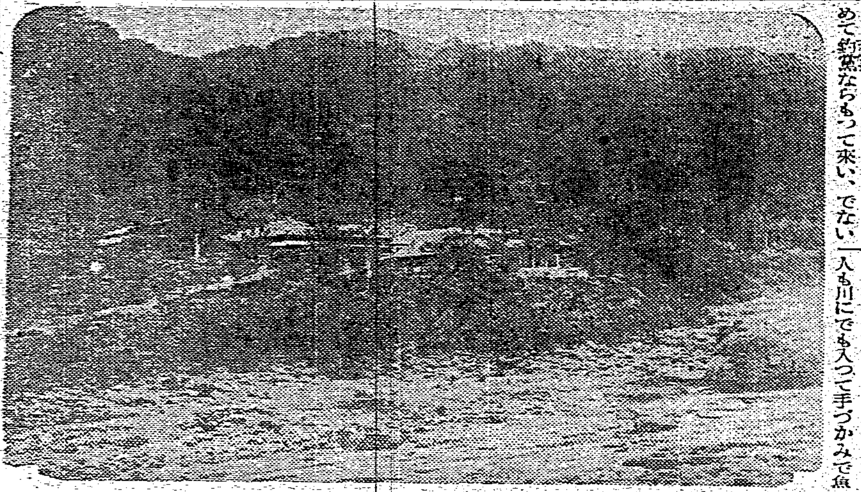
仲秋十五夜の滿月前後村中の老若男女總出の大祭にして今歳の豐穰に村人は鼓樂歡喜の喜びを共にし惡酒に醉ひてに踊る、若者の戀の成就もこの祭事中に盛んに行はれる

と云つた譯なら樂しかる可き宜

アミ族のみならんやです、記者が臺東郡馬蘭部落訪問の際これも前部總派で盛んに蕃人の教化指導に努めてゐる臺東部落でイリシン祭を舉行してゐると云ふからすつかり嬉しく成つて立寄つた、イリシン祭會場と聞くとさやかに配られた門をくぐると會長以下總出で運動會をやつてゐました、競技隆々たる青年十餘名がランニング、パンツにスパイク姿でいまや二百米のスタートを切らうと云ふ場所です、アミ族の體育は教化の力により全く新しい世界に進んでゐる、和藹靄の裡に競技總出でよた！

× ×

歌謠は勿論の事秋の野に山に昇藥を求めてハイキングを試みする會のお方に紹介された一日の氣分をとり競技寫眞にする方法をお知らせしよう、玉子賽をとのり寫すなんかで遊戲を起したりなぞ云ふのは止



めて鯨の[illegible]ならもつて來い、でない人も川にでも入つて手づかみで魚を捕へて一ーそんな器用な事は山の人でなければ出來るかつて云うなら郵に方法がある、生魚を買つて台所へ入れ、苦力に持たせて出かける事だ一あたりに生えてゐる芭蕉の葉を二三枚とり地面を掘つた所に入れれば鍋の代りになります、其處に水を入れ魚を入れます、然る後に[illegible]れば濁りはどつちでも差つかへないですうして今度は薪を探して河原の石を集めてジヤンジヤン焼き、石の焼けたの石を鍋に入れて行けば程なく魚は石で煮えるとゐる原始的料理でスラテイヌスと云ふ事な高官は大變喜ばれたさうだがそんな事大衆を嫌ひなるイヌスと云ふ方が結構で[illegible]す、これはとんだ[illegible]と云ふさうだ

× ×

（一）臺東アミ族青年團長
（下）アミ族部落の全景に[illegible]

青年團は純白の上衣に紺セルのスカートと云ふさつぱりした服裝で手振り優しく主要蕃語を唱つてゐた、だが未だ男子に比して文化は[illegible]極力女子に文化施設を見學させ文明の空氣を吸はせる爲め臺北迄して部落民を總理に分け出かけて來ると云つてゐる、部落としては青年が祭殺により得た所謂共同耕金から補助を出して萬壽寺見物の募集をする事に成つてゐる

× ×

川のせゝらぎを聞きつつ靜かな一夜を過した、下榻舍附近の安通溫泉の心地良さ、蕃人指導に全生を捧げてゐる佐々木巡査、鶴岡巡査の夜下されてた山本數壽係長等の好意を謝しつつ翌朝十五時蘭に向つた（寫眞は蕃人の父兄によつて建てられた三星蕃一五系統（上）と安通溫泉の全景（下）

魔の池に 投身自殺

本島人車夫

蕃舍投身自殺するもの多く、由來「魔の池」と稱せらる臺北市綠町二九五先以上もある臺北市綠町二丸五先の池に又もや投身自殺があつた、二十五日、午後六時頃其の池に飛び込んだ一人の男があり附近に釣をして居た子供が直ぐ最寄の派出所にかくと知らせたや直ちに警官が飛込み[illegible]の死體を揚げた[illegible]臺北市建成町五丁目六十番地車夫[illegible]であるこの[illegible]

トラツク、橋上で 子供を轢く

蘇澳郡蘇澳庄蘇澳字蘇澳二〇一番地[illegible]の運轉するトラツクが二十五日午前十一時頃蘇澳郡南方一軒南澳橋上を通過中傍より突然飛び出した南澳庄小池名ゴンゴ社一八メーホーロン次女ハパオテトホ（二）を轢殺した

新竹の學校職員兒童庭球戰

【新竹電話】體協新竹支部主催第十一回州下學校職員及び兒童庭球大會は廿五日午前八時廿分新竹公園コートにて開催、全八團に[illegible]したが結局前年同樣新竹郡團が再び優勝、二位中壢、三位桃園と決定午後四時閉會した

幼兒が肥料溜池に墜落死

臺北市西園町七一六陳金福四男陳根錫（三つ）は二十五日午後一時頃母が約半丁離れた所で洗濯中過つて自宅前路傍の八尺四方深さ六尺の肥料溜池の中に墜落死した

基隆の慶安宮祭 大賑ひ

【基隆電話】基隆に於る二十四日夜の慶安宮中元大祭は低氣壓後の涼しい天候に惠れ近來にない人出を見寄附公園附近は三萬人餘の人の波で身動きも出來ぬ程であったが、警察官員の警戒により何等の事故も起さなかつた、基隆驛に於る二十三、四兩日間の乘降客は一日日が一萬二千八百七十七人、二日目が一萬七千七百八十八人で出の外局營バスによるものも多數あり前年より三、四割内外除計に出てゐると

岡野才太郎氏逝く

辯護士岡野才太郎氏（六十三）は二十四日午後臺北病院で逝去した、同氏は二十五日の葬儀を行つた、同氏は多年臺北で辯護士として活躍し[illegible]臺北市會議員となり今日に至つたが本年初代の臺北市議會議員に當選[illegible]

強風を冒し 海軍機飛ぶ

馬公上空で

【馬公二十五日發】強風十七米の風を物ともせず二十五日早朝から第三艦隊の飛行機は馬公上空で勇ましく猛練習をなしてゐたが同艦隊は豫定の通り訓練の爲め澎湖沖に出動した

大武方面の 被害甚大か

通信機關全滅で不明

【臺東廿五日發電】臺東郡下に於ける二十三日の暴風豪雨の際下に於ける被害狀況に就き目下新港支廳以外の新港、里壠、大武の各地方は通信交通杜絶して未だ詳細判明せず關係官廳の援助に努めてゐるが特に大武地方は颱風の中心に近かつただけに相當の被害を蒙つてゐるものの如く一般に憂慮されてゐる

臺東市街民は相次ぐこの水飢饉の緊急に當時に據へ、苦惱を[illegible]しつつ水道復舊の一刻も速かならんことを念願してゐる、尚水道修理作業はタバラカウ溪の減水を待つて應急的に著手すべく水道當局でも只管天候回復と同溪の減水を待つてゐる又一方臺東衛生係では飲料水の不足と惡疫の發生を懼れこれが豫防に大童である

こ至つたので二十五日よりこれが應急處置として各々街道[illegible]水自動車で各戶に井水配給を[illegible]つたバケツを下げた奧さん達が面の辻々で撒水車を取卷いて一定量の飲料水の配給を受けてゐる有樣は特に水饑饉の非常時風景である

嘉義の秋競馬

初日の繪き

【嘉義電話】嘉義競馬初日は雨の爲め中止二十五日午前十時から引續き初日の分を續行競馬場のコンデシヨン惡く天候不良で觀衆も又多くなかつた

一、丁班一、四〇〇米駈歩　1勢天地（竹下）1分43秒8　2ラツキー　配當2圓複1、1圓10錢　2　1圓10錢

二、丁班一、六〇〇米駈歩　1アケボノ（竹下）2分5秒　2第一旭　配當3圓50錢　複1、1圓70錢　2、1圓10錢

三、新抽籤一、六〇〇米駈歩　1ツバキ（土田）2分6秒　2ハヤコマ　3イーグル　配當ナシ　複1、9圓70錢　2、90錢　3、40錢

四、丙班一、六〇〇米駈歩　1シケル（鈴木）2分0　2觀音山　3スイザン　單4圓　複1四圓　2　二圓七十錢　3　八圓七十錢

五、丙班一、六〇〇米駈歩　1小鈴（吉永）2分0　2ヘラピークキーン　3朝暾　單五圓四十錢　複1　三圓四十錢　2　二圓六十錢　3　七十錢

六、丙班一、六〇〇米駈歩　1タカ（又村）1分58秒　2ミドリ　3長門　單七圓六十錢　複1　二圓三十錢　2　一圓五十錢　3　七十錢

七、速歩三、六〇〇米　1浦波（平井）8分37秒　2タイホクホマレ　3ハンエイノウ　單三圓三十錢　複1　二圓七十錢　2　五圓七十錢

八、丙班一、六〇〇米駈歩　1満超（阿部）1分58秒　2第二ヘキレキ　3ヤレバワカル　單二圓八十錢　複1　二圓十錢　2　六十錢　3　一圓七十錢

九、乙班一、六〇〇米駈歩　1モンペリ（吉永）1分57秒　2春駒　3マツ　配當十圓　複1　四圓　2　一圓十錢　3　一圓二十錢

十、乙班二、六〇〇米駈歩　1合歡（上田）2分55秒　2ヒロー、3キタキタ　配當ナシ　複1　四圓

十一、甲班一、八〇〇米駈歩　1猿投（鈴村）2分9秒　2飛龍　3ヒコウキ　配當十圓　複1　二圓　2　一圓九十錢

十二、甲班一、八〇〇米駈歩　1火の用心（城）3分9秒　2トオル　配當四圓十錢　複1　三圓二十錢

馬公の警邏船天南丸 荒天で高雄に閉籠る

【馬公二十五日發】松本督府巡邏浩灌機長一行を乘せ水野警務課長の案内で二十四日馬公を出發安平方面の視察の上高雄に向つた警邏船天南丸はこの荒天に閉ぢ籠められ目下高雄に碇泊中

督府總仕警邏安會　總督府では毎日サービスに飲食を含む百名近い給仕を二十五日基隆海水浴場に案内して親睦會を催した、中田會計課長以下係員數名指導の下に水中、陸上の餘興及び遊戲で一日を愉快に過ごし午後六時散會した

△出港

高千穗丸　前十時　門司　商船
めなど丸　前九時　蘇澳　同
福建丸　前六時　東京　同
綾瑞丸　後四時　花蓮港　同
鍛冶丸　前六時　高雄　丸一

△入港

盛山丸　午前　高雄　商船
長沙丸　同　福州　同
めきこ丸　前十時　長崎　同
蓬萊丸　零時半　門司　同
大阪丸　正午　高雄　郵船
△在港
上海丸　第八岸壁
第廿八共同丸　第一浮標
吉野丸　第二岸壁　郵船

（△印貨物船）

今日の天氣

△臺北地方　北西の和風晴後驟雨
△北部地方　北西の和風晴後驟雨
△昨日の最高氣溫　九一度六分（午後三時）
（臺北觀測所發表）

辯護士從六位勳六等岡野才太郎儀急病ニテ八月二十四日午後十一時三十分死去仕候間此段辱知諸君ニ御通知申上候
追テ來ル二十六日午後四時市内樺山町淨土宗別院ニ於テ告別式舉行可致候
臺北市幸町二丁目三番地
昭和十年八月二十五日
男　岡野　一
男　河内　二
親戚總代　木村　謙
友人總代　河内　健
臺北辯護士會長　高橋　二
廣島縣同志會長　山崎　吉
安保　靜
有田勉　三
人
義
毅
郎

父兵右衛門儀病氣療養中ノ處養生不相叶八十一歲ノ高齡ニテ八月二十四日午後十時永眠致候間此段謹告仕候
追而葬儀ハ二十七日午後四時三橋町齋場ニ於テ告別式執行仕候
昭和十年八月二十五日
臺北市下奎府町三ノ一〇
男　正木喜三郎
親族總代　武満重俊
古内勇治
佐久間交通
友人總代　太田　收
甲斐　吉
小山留郎
宇敷三夫
交野　超一
吉田　清　郎
新見鶴次　喜三郎

海軍々縮會議
帝國覺書告示英國

東京二十五日電。本年中將開海軍々縮會議。及在會議主要者的立場之英國最近與帝國保持接觸。打聽意向。會議主題。依然以自主的建艦之言案。與自的制限。不出一步。帝國公正妥當之保有量共通最大限設主張。以不爲忘故帝國政府。二十二日。再將帝國軍縮根本原則強調之覺書。告示英國政府而對英國所主之自主的建艦宣言案。故貿的制限案。宣明絕對反對。茲有可注目者。英國海軍私設代辦者。自他共之海軍評論家海白達氏。近著言及海軍制限新方式。以帝國主張之保有量共通最大限設定以外。新軍縮協定無達成之途。即其要點如左
一、現行制度。爲艦種別制限。此須改爲總噸數制。現行制度。全非理論的。
一、其優過于比方法者。廢棄等分準噸數。而于各國以共通最大限噸數之制限。如是得以一掃從來之弊害。
一、英美主張艦種別制限。而日法亦希望總噸數制總噸制雖有反對論。而其論自不立。現行條約。英美斷然優越。日本一時忽爲第三位。其係人爲的。者不待言。故其永續。勿論于國際關係有大害。
一、今也華府及倫敦條約于次可討議。究雖存續形勢。其以代之者。在于共通總噸數制度。爲英美兩國政治家。宜直

◎危險信號。

意國軍用船
載義勇隊
遠征東阿

那不里二十四日電。意國軍用船阿爾那號二十四日。載一千名黑襯衣義勇隊。出帆那不里。意國首相令息同船。與西優爾尼亞號相前後。託地中海遠征東阿。

中央與地方聯携
向統制強化邁進

東京二十五日電。陸軍于二十六日軍司令官師團長會議終了後。午後一時。在陸相官邸。開懇談會。而基于軍事具體的細目指示。陸軍所流說。對永田中將遭相等說明後。然忌憚交換意見。決定中央與地方。加一層聯携。而邁進于統制強化。同席上。參謀總長。教育總監。及全軍事參議官。亦以非公式出席。交換意見。

何氏入平
延期一兩日

北平二十四日電。何應欽氏。擬于二十四日午後四時抵平。各方面代表者。多數出迎。然只代表者蹈至。而何應欽氏入平。延期一兩日。

汪氏留任政局漸安
對日外交全面的支持

上海二十四日電。汪精衛氏既留任。中華政局。漸見安定。有吉駐華大使。近赴南京。會同汪精衛氏暨國民政府當局。就山積日華諸懸案解決。此行赴南京。有吉大使。既將擬山會議內容。及其後之中華政局動向。已詳細對廣田外相報告。今後對華外交所關。俟外務省指令。對此囘訓。目下爲事務接洽。由歸京中堀內書記官攜行。按九月上旬歸任。擬在有吉大使之赴南京直後。一面中華一途。就汪精衛氏對日外交。蔣介石氏約以全面的支持。各要人等。亦主以日華兩國和善。故此回對有吉大使之懇案解決。求中華一邊之動向如何。可爲更生後之國民政府。對日政策之標準。頗加絕大關心。

選擧權獲得
合法方法
不服者得報明

既報。秋臺北市市會議員選擧。月收四十八圓五十錢以上者。付與一票權利。既如前報。然而務種於有權與缺格繳上之。民。(據市稅)課調查內地人六千名本島人四千名。計一萬人比較近選擧。爲考慮自己有選擧權與否。得自到市稅務課查問。受囘答選擧權之有無。開有爲欲獲得選擧權。奇想天開者。即以一圓。購古自轉車。立受鑑札。納出三圓稅金。然就此。屬合法的與否。或此外別有善法。稅務課群爲調查。即臺灣市制第十條第一項。關于「納市稅五圓以上者。在其市。有市會議員選擧權」。條文之市稅。屬獨立之府令。指限爲地租割。營業稅割。戶稅割三者。若自轉車稅則屬雜種稅。故雖有自轉車幾臺。亦自無效。以遂州課稅。要數箇月。畢竟。且及十一月之選擧。然爲惟一合法的選擧權獲得方法。爲二十五日納期。戶稅及戶稅割不服申出。除此以外。別無方法云。

臺中市教聯
公民講座

臺中市教化聯盟。去二十四日。午後七時半。於市民館。主開公民講座。聽講者座爲之滿。講師州地方課長。中川莊兵衛氏。州協議會員。常見舊護士又來三十一日。午後七時半。仍在同處開講座。講師警察署高等係主任諸富致一氏。及臺灣新聞主筆小川節氏云。

岡山商工協
復活決定
按蓋印後總會

既報岡山商工協會復活問題。去二十三日午後八時招集街中商人約百名。在岡山公會堂。開懇談會。是日岡山庄長。爲座長。致詞後。說明商工會復活要點。次有發起元及數全標二氏。贊成演說。是夜出席商人。多述希望事項。旋議論進行方案。至十時過。滿場一致。贊成復活。擧揚庄長敍禮後散會。自二十四日起。俟商人蓋印後。然後擇日開總會。目下磋商一切進行事項。由山有志者。再對當夜不出席商人。逐一訪問。勸募中。

暴風雨襲臺東廳下
街堤防瀕于危險
警官消防壯丁青團等出動

臺東廳地方。二十三日夜暴風雨來襲。風速二十米至翌二十四朝。風速漸退而豪雨未歇。卑南溪。タバラカウ溪、リカ溪。各見漲水。濁流迫近臺東街堤防。街民大感危險。廳警察職員。消防組。壯丁。青年團員等。急非常召集。冒豪雨警戒防禦。街民皆戰々兢々。又街水道幹線因馬蘭橋梁流失。二十四日午前。一時斷水。臺東鐵道線。赤山崩不能運轉。電信。電話復不通。爲是當街。陷于孤立無援狀態。且州環地方被害。一切不明。而道路。橋梁決潰及流失。農作物被害不少。全廳下有相當之損害云。

颱風影響
各船舶難航

低氣壓襲來。臺灣近海風浪甚高。大阪商船照光丸。二十二日午後六時。開向內地。至二十三日朝駛歸基隆港。要離。二十四日再出港。盛京丸。延期一日出港。又近海郵船西京丸。二十二日正午。出高雄。費三日間。始入基隆港云。

高雄州下
被害甚大
芭蕉倒六十萬

高雄州下潮州。東港。恆春各郡下。去二十三日午後八時。突有強烈颱風來襲。住家損害。芭蕉樹倒伏其他。被害甚大。因各處電話不通。及交通杜絕關係。至二十四日午後八時。始報到被害報告如左。恆春郡下。貓子坑家屋倒壓死本島人女三名。溺死一名。網紗橋脚流失。東港郡。住家全壞十三戶。半壞十九戶。小破四十一戶。非住家全壞十二戶。半壞五戶。大破三十三戶。小破三十四戶。竹折斷及倒一萬千五百本。芭蕉倒六十萬七千本。潮州郡下枋山庄南勢湖岡之土名石門丘陵崩潰交通杜絕。住家全壞四十戶。半壞七十六戶。大破三百十七戶。小破二百七十五戶。非住家全壞百七戶。半壞七棟。大破六十三棟。警察專用電話柱倒一百十三本。道路並木倒者二千五百七十六本。芭蕉倒四千本。警察課廳舍附屬建物大破一棟。同官舍小破九戶。枋寮分室廳舍大破。同官舍大破二戶。楓港貿易所事務室及官舍半壞。執務不能。警官派出所官舍大破一棟。枋山同半壞三棟。屏東郡蕃地武大尹社駐在所監督者官舍。僅殘一棟。餘皆倒壞。養蠶所及休憩室全壞。蕃童教育所大破。蕃屋全壞四十三戶。同大破八十七戶。同小破七十戶。沙帝門社蕃童教育所全壞駐在所警察室。國旗揭揚臺倒。卓帝沙駐在所。蕃童教育所教室毀。被吹去六處。以外蕃地被害甚大現未接到詳報云。

新竹社會團體協力
創設防犯協會
訂來廿九日擧發會式

新竹州爲全島創設之新竹州防犯協會。訂來二十九日午前十時。在州會議室擧行發會式。本協會之趣旨。欲使犯罪。得防于未然。而對犯罪搜查。自要應援協力。即對社會生活之使犯者。處于共同戰線乃社會人當然之義務。且爲公民之一任務。于州下各郡署。亦設協會。而州內組織聯合會。推知事爲總裁。警務部長爲聯合會長。刑事部長爲副會長。判官檢察官郡守等爲顧問同會設立彰規定。其對防犯運動實施。其如左。
一、聯合會實施事項。(一)宣傳標語宣傳標圖案小說募集公表揭出或配布。(二)配付小冊子。(三)防犯展覽會。(四)實施防犯日。(五)映防犯關活動寫眞(六)講演會。(七)對表彰者表彰或贈呈感謝狀。
二、郡署協會應實施事項。各依其地方之事情。皆立各種計畫。會員勤員時。與青年團。保甲役員。消防組。在鄉軍人會。少年團等諸團體。協力活動。就自動車宣傳。印刷物頒布。講演會。座談會。非常時警戒。防犯設之研究等與聯合會協力。以期貫徹目的云。

體仁會主事
侵款續聞

既報臺南市臺灣體仁台資會社主事方登傳氏。使用社款。多至三千。除回一案現尚在警察署查究中。而該社要出資主張。蔣齡氏去二十五日。歸自內地。近將開股主會議。籌善後策。聞方氏使用該款。各出資者中。多有同情者。該不難解決。蓋方氏出身團家。精明幹練。而家事清淡。上有父母。下有弟及子女。均入中等學校。衣食齋火之費。惟氏是賴。氏俸數十金薄俸。臨家而外。社會交際。在々需費故自六七年來。已極拮据遂流用及公款。積久成多諸股主中。多知之者。總因交誼情深。未爲摘發。遷延迄今。竟至不可收拾者番事之發露。保因警察當局。管束非儀甚嚴。歷止花車。致該社大受打擊故股主中。欲乘機。結束該社生意。乃擧其事以告官。方氏遂難倖免。然所侵之款。以家事經濟及子弟教育費居多。故深得股主及一般同情云。

北斗郡街庄
有權者數

北斗郡下。今秋之地方選擧有權者總數。達六千四百七十七名之數。就中自營不能者。有三千三百四十九名之數。日前報告於臺中州內務部。其選擧有權者之街庄別如左。

街庄別	選擧有權者	自營不能者
北斗街	七八〇名	一八〇名
田尾庄	六七七名	四〇〇名
埤頭庄	八〇六名	五〇〇名
二林庄	一、一二〇名	三一四名
沙山庄	八〇四名	四五〇名
大城庄	七〇〇名	五〇〇名
竹塘庄	七五〇名	五二五名
溪州庄	八四〇名	四八〇名
計	六、四七七名	三、三四九名

臺南賄賂事件
罰金結案

本月上旬。臺南市壽町登所稻落巡查。檢擧橫領贈賄金犯。及賄賂金提供犯經臺南警署根本警部補訊問後。將案送局。去二十四朝。在臺南地方法院刑事單獨部。山志部判官承審。拔元檢察官干與之下宣判提供賄賂金之人力車夫。黃砍太。無賴漢主謀精。各罰金三十圓。斡旋者源利樓主爲聯超。竝車夫黃牛猴。各二十圓結案云。

賣卜之子
撈蛤溺死
父抱屍大哭

北門郡佳里街佳里興人黃允。年九。去二十二日午後二時頃。偕其父黃造。往溪州附近將軍溪撈蛤。誤陷深處被溺。父盲不知其故。及連呼不應時。始覺有異。急呼救。隣近聞聲馳至。然屍存已久。不能復活。其父抱屍大慟。蓋造以賣卜度活。日賴其子引路。父子相依爲命。聞者皆爲之酸鼻云。

新竹郡當局
檢擧僞醫

新竹州下各郡村落。間有僞齒科醫。到處欺瞞勞働者。此人乃關西庄一一四番地。前科六犯。王振星年三十六。去二十二日。被郡警察課檢擧。嚴重調查結果。齋自數年前。對內地購入治療用機器數百圓。設於苗栗。竹各處村落。藉他人鑑札開業。州當局爲圖撲滅。目下偵查中。

臺博當局
致意火氣
樹立萬全對策

臺灣博警備衞生部。由森田部長之督勵。對觀衆以親切爲目標之指導方針。現對部員。極力訓練中。唯其中最可虞者爲火災。若一過發火。則百五十萬圓之大博覽會。終歸于灰燼。而人氣墜地。故對此豫防。尤加致意督勵部員卽于各建物均有消火設備或于各會場。設消防詰所配置常備消防手。如自動車喞筒。不分晝夜常備。講究萬全之策。顧火氣由何而發。固難測。森田部長對部員及關係者之訓示。希『諸君對不致意現象。注意其棄置煙草。殘。不若踏消其火。凡事自己實行而注入防火精神。此點係員及觀衆。尤要須知也。又對會場附近徘徊之禁煙漢。警備係與警察當局提攜。嚴重取締云。

スポーツ

日米水上戰と伯林オリムピックの展望
前途輝く『水上日本』

ベルリン・オリムピックの前哨戰として太平洋を挾んで對立する日米兩水上軍の對抗戰第二回日米水上競技大會も36對27九點の差を以て『水上日本』の再勝利となり、さしもの全世界の耳目を集めた一大快戰も終つたのであるが、今次の大會によつて明年のオリムピックに對する目安も大體つき、日米兩軍としても補强工作の上に種々參考資料を與へられたわけである、十二種目の中日本は七つの選手權を獲たるに對して米國は五つであつたが、これをオリムピック種目の上から見るときは日本は千五百米自由型、二百米平泳、八百米繼泳の三つ、米國は百米自由型、四百米自由型、百米背泳の三つとなつて選手權獲得數は三對三のタイである

×　×

水上日本がベルリン大會で再び世界の王座を絕對確保するためには百米自由型、四百米自由型百米背泳の中どうしても一種目は絕對優勝の可能を持たしめなければならないのだ、先づ百米自由型から檢討を加へれば戰前米國の王者ピーター・フイツクは來朝後の練習で57秒4を出して好調を見せ、兒玉は56秒8の世界記錄保持者の貫祿を見せたのであるが、これに對しわが日本の大陽遊佐は練習で56秒8、56秒9を出してゐたと傳へられ全日本最終選考では57秒8を正式計時してフイツクに對抗する强勢力を示した、斯くて豫想はスタート・ダツシュに強い遊佐がフイツクを2乃至3ストローク引離せば八〇米辺から無類のスパートでフイツクが迫つても逃れ込めるが、レースが水ものだけに何とも云へなかつた、その小手調となつたものが三百米混繼泳と四百米繼泳であつた

×　×

三百米混繼泳ではアンカーの遊佐に小池がリレーしたときは二米の差があつたが、遊佐はフイツクを追つて之を一米の差にまで詰め56秒8の驚異的タイムを出した、此日遊佐は二百米自由型の前半を59秒8といふ恐ろしいスピードで飛ばし、ゴール前で浮いてマシオニス、リンドグリンに敗れされるといふ醜態をやつてゐたに反してフイツクはキツパス一流の戰法で三百米混繼泳のみの出場であつた關係から見て遊佐に稍有利であつたが、第二日の四百米繼泳ではフイツクが57秒9を出したに對して遊佐は57秒4に止つて第三泳者手野がウオルフに引離された三米の差は詰めることができなかつた、斯くて第二日の力からみるとフイツクが優勢となつて勝負はそのときのコンデイション任せといふことになつた

×　×

第三日の百米自由型遊佐はスタートに出遅れた フイツクは好スタート、これで勝負は定まになつた、遊佐の強いダツシはフイツクを引離し途中計時26秒2 26秒4でリードしたがゴール前一〇米のフイツクの力強いストロークに57秒2、57秒8の差で敗れ去つた、力の上から云へば五分五分としか云へない、そこで遊佐をして後半の憂ひなからしめ會心のレースをやらせるためには有力なスプリンター陣を編成することが先決條件だ、その意味から云つて少年新井が59秒のウオルフをタッチの差で退けて三着を獲得したことは光明を齎したもので 四百米繼泳のトップとして59秒0 此の記錄で再び59秒0を出したことは力强い、平野は中耳炎氣味とかで59秒6に止つて振はなかつたが未だ少年だ、新井、平野に並び自信をつけて來たと認める石村なども8秒臺をコンスタントに保つやうになつたとき遊佐が世界に君臨するときだと思ふ

×　×

四百米自由型は長水路にかける世界最高記錄を作つた根上と調子を取戻した牧野に加へてレースに自信を加へた石原田が第一日の千五百米自由型で19分12秒0の大記錄で優勝してゐるだけにタイトルの確保を豫想されたのであるが、結果は最後の五〇米におけるメデイカのラスト・スパートによつて根上はタツチの差で葬り去られてしまつた、第一回日米對抗ではギルフラのために敗戰を喫し、ロスアンゼルス・オリムピックではバスター・クラブに同じやうな經過で選手權を奪取され 全種目制覇の栄成らず昨秋の全日本選手權招待競技ではメデイカのため苦杯を嘗めさせられ、今回も亦雪辱成らずして恨みを呑んだところの因縁つきの種目である

×　×

メデイカは冷水に强いといふ反面牧野は冷水に弱いといふことだが、ベルリンは神宮競泳場と大體同一のコンデイションで19度―21度位だといふからこれは餘程備へてかからないと又復今回の二の舞を踏むやうなことになる憂がある、來朝後のメデイカのコンデイションは至して好調でなかつたといふことでレースに對する違算をやつたわけだが、石原田か牧野を犧牲にして前半をブツ飛ばさせたらメデイカの調子は狂つたかとも見られるがこれは結果論でまあ此點はベルリンまで預けだ ギルフラが中耳炎を起して出場できなかつたがギルフラとても兒玉路ながら4分43秒5を出してゐるのだから決して油斷はならない

4分43秒2の世界新記錄を作つて優勝せるメデイカを標準とすると共に同タイムで惜敗した根上の實力と4分43秒8を出して依然優秀な牧野の强さを心强く思ひ、而も體力が物をいふ此種目の制覇を企圖する上からいへばどうしても此種目一段と努力を要求する專門的泳手の强化を計らねばならない事になるのではあるまいか、本田、寺田などの後陣の强化を望めば長距離陣の編成に些して支障も來すまい

×　×

百米背泳は戰前すでに投げてゐた種目だ、1分10秒前後のキライスデール、ブランチに1分11秒所のゼーアに對して1分9秒1―10秒臺を出したといはれる少年吉田も經泳法から急ピツチへ泳法の轉換をやつてゐる過渡期にあるだけ期待もできず 全日本最終選考でも1分11秒臺に止つたから全敗を豫想された レースの結果はゼーアが五〇米のターニングの反則で失格、タッチの差で四着の河津が1分12秒6で三着といふ慘敗であつた、清川、河津、入江で固めたロスアンゼルス大會時のトリオも支離滅裂となつて新興日本の背泳を再建設する時が來てゐる、幸先に吉田に懸けられた望みは明年迄に期待するものがあると共に『新人明 兒島などの强化も期待できるから一層に悲觀したものでもあるまいが、米國には今回は幸に來朝せなかつたが1分7秒臺のキーファ及ヴアンデ・ウエーの兩强豪が控へてゐるから樂觀はできない、又第選には1分8秒4(短水路)を出したことのある、ニルネスト・キユベースはじめ英國のベスフォードなどがゐるから堅氣一番せねばならない

×　×

全勝の千五百米自由型はベルリン大會においてもまづ確固不動を保約した、根上、石原田、牧野などで固めた長距離陣は鉄石とみてよい、殘されてゐる問題は一九二七年九月三日ボロニアで瑞典のアルネ・ボルグが作つた19分7秒2の驚異的世界記錄が誰の手によつ打倒せられるかである

×　×

二百米平泳の正統派泳に對する異端者新泳法バタフライの威力如何といふ問題が勝敗以外に大きな謎を投げかけてゐたが、此『蝶々泳法』學ぶに足らずといふ世評に應したやうだ『蝶々泳法』は昨年本紙運動欄において紹介して置いたことがあるが、ヒギンスが公式に用ゐたのがはじまりだ、全米宇內選手權二百米平泳ではレオナード・スペンスと競つて2分43秒5のスペンスに破れたが、一五〇米邊までリードしたことによつてその威力を認められたものである兩手を日本泳法の諸抜手のやうに拔くのだが、今回のレースによつてみるにゴール間近の激戰になつて來ると疲勞のせいもあつて兩手が同時に拔けず、規定外の泳ぎとなる危險があるとのことだから豫くとも體力に恵まれない日本人の學ぶべき泳法ではなく、又百米では相當の威力を見せたが二百米になると後半が落ちるらしい

×　×

百米で九〇米邊までリードせるカスレーがゴール前で小池に拔へられ、ヒギンスまた同様業室に詰せられたところをみても育ける、ネツペス一流の戰法から三百米混繼泳に備へるためカスレーは二百米に出場せなかつたが、出場したとしても2分43秒6の小池、2分43秒6の兼宗の豫戰を擊すことは難しいとみる、ヒギンスの2分46秒0は蝶々泳法現在の水準を示すものではあるまいか、勿論二百米混繼泳にカスレーが出した1分12秒2の一大タイムは小池の同タイムと共に喜ばすべきものであり、短距離には威力を持つことを示したものだが謎は明年のベルリン大會が解いて呉れるわけだ 獨逸のパウル・シユワルツ、エルウイン・ジータス、加奈陀のレオナード・スペンスなど短水路2分43秒臺の泳手があるが、小池、葉室で日章旗を揚げることは豫約されたわけだ、唯だ小池の騒首の激戰における試合度胸の問題が殘るだけだといふことである

×　×

八百米繼泳は2分11秒臺の實力持つ主將遊佐に2分13―14秒の根上、牧野、石原田を配して鐵水の陣を布けば米國またアイツクを陣頭に立てメデイカ起用、マシオニス、リンドグリンを配して必勝を期したが、8分52秒2といふ驚異的タイムでロスアンゼルス大會に宮崎、遊佐、豐田、横山で作つた世界記錄8分58秒4を6秒2縮めて日本優勝、ベルリン大會における制覇を約束づけた、米國チームも8分58秒6の大記錄であつたが如何せん日本チームの實力の前には完敗したのである、試みに日本チーム各泳手のラプタイムを各人のタイムに計算してみると遊佐2分11秒2、石原田2分13秒牧野2分14秒2、根上2分11秒8となつて石原田が2分15秒を要したのみで遊佐、根上の2分11秒臺の强さは驚異しさを感じ

【笹島治平】

淡水旭種米價獨貴
視北部米貴一圓餘
北州米穀商組擬獎栽

從來員林蓬萊米。在內地頗博好評。本年因稻熱病發生。致損聲價。在東京市價。恆比中部米更賤一二十錢。而臺北州淡水郡所產旭蓬萊米。因食味及黏質。最投內地人嗜好價格甚好。爲各地蓬萊米冠。據臺北州米穀商同業組合最近所接臺中州農會東京出張所長作田隆氏(前總督府殖產局技師)來信稱八月一日至十五日半箇月間蓬萊米在東京買賣市價。南部米最廉。次則員林米。中部米比員林米加貴數錢乃至十數錢。北部米近來聲價甚好。與中部向價。有時更貴些少。而淡水產旭種蓬萊米。比北部米所貴一圓二三十錢。旭種四等米。比北部三等米。尤貴一三十錢。誠出人意外。米穀商組合理事黃水沛氏。一二三年前曾獎勵該組合員及北部農民。栽培中六十五號種。果穫好成績。如蘭陽三郡成績尤佳。茲鑑於旭種比臺中六十五號稻之高價。此後要極力宣傳獎勵云。

茶業傳習所
卒業式

督府林口庄茶業傳習所。去二十四日午前十時。擧第五回卒業式。是日有殖產局長代理奧田特產課長。山本屬。臺北州則眞室勸業課長。宮永技手。新竹州石渡技師。金子新莊郡守。岩田茶商公會理事。島田臺北州農業傳習所長。吳林口庄長等臨席刻到。谷村所長(特產課技師)。對卒業生三十名。(臺北州七名。新竹州二十二名。臺中州一名)。授與修業證書。次告辭。次局長代理奧田課長訓示。眞室課長。石渡技師。金子郡守。吳庄長等陸起述祝辭。卒業生總代梁浮河君答辭十一時半擧式。

臺南州下
方委總會
協議各提案

臺南州下方面委員總會。訂來三十日午前八時。開于嘉義市公會堂。是日開會順序。一、方面委員功勞者表彰。一、知事訓示。一、撮影記念。由是協議左記事項。
一、精神病患者收容所建設所關件(臺南)一、施療機關充實對當路建議件(臺南)。一、社會事業根本方策確立徹底所關件(臺南)。一、養老救護院設置要望件(臺南)。一、方面委員辦理事項發表所關件。(臺南)。一、大會決議事項實施促進對當路建議件。(臺南)。一、方面委員結婚周旋辦理件(嘉義)。一、失業者救濟救護施設實施要望件(嘉義)。一、未成年者禁酒法實施對當路建議件(鹽水)。一、社會事業組織之擴大要望件(鹽水)。一、方面委員事業之趣旨宣傳。爲基金助成活動寫眞班設置件(朴子)。一、社會事業記念日行事所關件。一、其他礎商事項。一、方面委員間國語常用實行相約件(以上臺南)

竹塘信組
臨時總代會

北斗郡竹塘庄。竹塘信用組合臨時總代會。定來二十六日。午前九時。開於竹塘公學校內。當日附議事項。爲定款中之貸付最高限度變更承諾。並組合事務所新築承諾之件等云。

宜蘭

共同普度

宜蘭郡員山庄新城枕頭山結頭份阿蘭城共同普度。依年例訂八月二十五日。在新城仔墓地大衆廟擧行。本年輪值新城仔區。洪阿氏承辦云。

擊鉢月會

宜蘭仰山吟月例擊鉢吟會。此回輪值楊臨泉氏外三名承辦。去二十五日。午後一時半。開於楊臨泉氏宅上。希望社員多數出席。

金山

招魂祭期

基隆郡金山庄金包里殉難憲兵招魂祭。定月三十一日。午前十時半起。在金包里公園執行。因圖參列者之便宜。金山基隆間石油發動機船。即資山。成福兩船。是日午前八時半。基隆旭橋出帆。而金山淡水間之乘合自動車。午前八時發淡水。又金山基隆間客車。依乘客之希望。欲隨時發車云。

獎賞巨豚

金山庄金包里慈護宮。慶讚中元。定舊曆七月二十八九兩日間。即二十八日夜放河燈。至二十九日中元普施。本年爐主張麗冬。許金來兩氏。現經飼備著手。本年特設肥豚等級即對自一等至三等者。由爐主各贈金牌一個云。

臺中

講習閉會

既報臺中州勸業課主催第十回產業組合役職員講習會。去二十四日告畢。是日午前十時。擧閉會式。

市街野球

臺中市役所。州廳。教育。勸業財務。土木各課對抗軟式野球大會。去二十四日起。開於幸町球場。每日各出午後二時起。比試兩回。按于來三十日決勝負

北斗

選擧評議

北斗郡北港水利組合評議員。至來二十七日各滿任。故定於翌二十八日起。照各區定員及選擧處。以投票法施行。

業佃週間

北斗郡與農佃和會。對於業耕契約更新期。于舊曆中秋(新曆九月十二日)前後。即九月九日至同十五日止一週間。連續對全郡下擧全力實施業耕契約。同時將本會分二班指揮。派出役員及分擔區如次。第一班。班長堵出副會長。北斗街擔當者大村主事。溪州庄同富岡囑託。竹塘庄同板垣囑託。大城庄同寺田囑託。第二班。班長武山副會長。田尾庄擔當者角田囑託。埤頭庄同石黑幹事。二林庄同齋藤囑託。沙山庄同施囑託云。

保姆講習

臺中州。主催季節保育所保姆講習會。月二十二日起三日間。每日自午前八時。至午後四時。在北斗公。校開會。參加講習員。員林郡下及北斗郡下共五十五名。講師石川臺中州社會事業主事外三名云。

屏東

選擧講演

屏東郡警察課。定來二十八日。開對郡下各庄。凡二十四處。開選擧取締規則。趣旨宣傳講演會。講師爲同郡森警察課長。及古城行政主任兩氏。

妻竊夫款

同郡九塊庄九塊三八番地陳其草。去二十二日夜。出外觀劇。夜半歸宅。發見室中所藏其金屬現金七百餘圓。被人竊去。未々天明。急向郡刑事主任現場檢證。調查結果疑其妻陳林氏具所爲。乃命同行到郡衙究問。至二十四日午後。始判明眞相。

嘉義

奸商被拘

嘉義市東市場內。去二十二日午後三時半。警務巡查發見一行商者。使用不正秤。該秤由秤桿內刻入約二寸深。昨拘買客。其人係東石郡朴子街朴子一三二七黃川。年五十。按經署木崎司法主任訊問。結以違背度量衡取締規則。現留置究辦。

密吸阿片

嘉義市宮前町六丁目一六李木年五十八。去二十三日午前十一時半。在市內朝日町五丁目一九阿片煙館。持許及資格者一名之歐陽文得。年四十六之處。密吸阿片之時。被南門町派出所員發見。將附名捕送嘉義署現由木崎司法主任究問。

臺南

制度講習

臺南州新化郡轄小公學校職員地方制度改正講習會。由郡當局主催。定二十七日起四日間。開於新化小學校講堂。講師爲須郡守。小平警察。丸山庶務兩課長。廣田街庄主任。作佐部視學。諸督員約百名。科目則地方制度改正及其精神。與臺灣地方選擧取締規則等云。

地租講演

新豐郡當局。對於今回改正地租。恐一般人民。未能了解。乃定來二十七日起四日間。由郡內各地開講話會。開會日程。二十七日仁德。歸仁。二十八日關廟。二十九日永康。永寧。三十日安順等庄。每日分上下午。兩處倡開云。

詩壇

宿獅山指南宮　林水文
雲氣浩漫々。山房半夜寒。仙凡同一榻。睡覺月將殘。
○
山徑通幽處。端居感寂寥。更無禽鳥語。風竹動瀟々。

寓齋書懷　林友笛
過隙駒光疾似梭。歸來轉眼鬢將皤。經書却喜閑中讀。琴瑟偏敎靜裡和。遯世自然來往寡。識人生於是非多。不勝豪竹哀絲感。顧曲樽前喚奈何。

次韻　揚瑞夫
光陰回首去如梭。舊昔交遊鬢半皤。世上雲雖變換。家中老幼却平和。耆康棒給寧嫌薄。補拙書藏不厭多。小隱江村煩慮少。粗衣淡食樂如何。

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
臺灣日日新報社

改訂増補 臺灣六法
發行所 臺灣日日新報社販賣課

9月新秋号
中央公論
特價・八拾錢

司法官に上るの書
國家改革の原理・宮澤俊義
☆内閣審議會と調査局運用論・高橋龜吉
小説 ある有閑マダム 近松秋江
小説 女の産地 徳永直
小説 牡礪 林芙美子
讀書論 南弘
◇運命と人の力・武者小路實篤
吉村冬彦氏の印象 辰野隆
★映畫女優は何故墮落するか……北山虎造
滿鐵新總裁松岡洋右……佐々弘雄
轉向後の左翼戰線……荒畑寒村
髙橋財政の檢討 大口喜六
退職手當法案の批判 末弘嚴太郎
・ラヂオの反動化を難ず・長谷川如是閑・清澤洌・廣津和郎・吉本明光
◇古今賣笑婦物語……瀧川政次郎
戀愛・映画・新聞小説 大熊信行
◇田中總裁の登場……小泉策太郎
左團次自叙傳
寫眞の逆説……原奎一郎
◇人の思ひ出・山川均
街頭經濟學（口繪）小杉放菴
東京丸ビル 中央公論社
街の人物論 重光葵・市村羽左衛門・矢野恒太・井伏鱒二
横光利一と杉山平助
室生犀星
現代家族論 戸田貞三
渡滿所信 松岡洋右
非常時陸軍論 平田晋策
文藝時評……正宗白鳥
三黨首會同論……馬場恒吾
世界の暗室 Z・Y・X
新響の內紛 近衛秀麿 小森宗太郎
特輯 極東問題の新展開 芦田均 尾崎秀實 伊藤正德
大平記 奥太 村松梢風
科學隨感 髙島米峰
花柳界と演劇 小林一三
父・杉山茂丸……夢野久作
秋風帖 中川一政
論理の悲哀……逢川鶴次郎
隅田川両岸 久保田万太郎

文藝春秋
九月號 定價五〇セン
外交回想斷片 石井菊次郎
歴代總理を檢討する 岡崎邦輔
□選擧今昔譚 城南隱士
□軍部畏怖症 大森太郎
□新響騒動とAK B・B・S
松平恒雄論 伊藤正德
蘇聯五ヶ年計劃は失敗？ 星島二郎
文壇人の經濟 杉山平助
選擧肅正と婦人團体 柿山浮士
女性滿足論 石原修
新響を追はれて 原善一郎
滿鐵を覗く 太田正孝
刺された永田鐵山 江戸川清
新黄禍論 清澤洌
世界の歡樂街を語る座談會
隨筆
父杉山茂丸を語る 夢野久作
戰爭の氣象學 荒川秀俊
京大事件後日物語 恒藤恭・末川博
□別莊の高橋藏相（繪と文）岡本一平
暑中演劇雜筆 三宅周太郎
歐米二ヶ月の旅 丸木砂土
滿洲土産ばなし 市村羽左衛門
犬自慢
家の犬 此頃……藤井浩祐
私の犬達……菊池寛
人物評論
都市
殘暑隨筆
羅馬の夏……五來素川
カムチャッカの話……並河功
夏羽織……下島勳
利根川べり……有馬賴寧
雜草の庭……富安風生
新人輕蔑論 小林秀雄
小説 裸像 德田秋聲
縣賞当選長篇実話 闘犬師秘話 秋田土佐雄
梨園太平記 四谷左内
□話の屑籠 菊池寛
□思ひ出るまゝ 德田秋聲
□二階堂放話 久米正雄
芥川賞受賞作品 蒼氓 石川達三
東京市麴町區内幸町大阪ビル 文藝春秋社發行 振替東京一七六〇三

大阪商船 出帆
近海郵船 出帆
辰馬汽船 出帆
大連汽船 出帆
[illegible]
會葬御禮 松崎兼藏

商業登記公告
[illegible]

ナツヤスミ ニッキ ワスレズニ グリコ

ひふ病の良薬
皮膚金冶水
[illegible]

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

改訂增補 臺灣六法

發行所 臺灣日日新報社販賣課　定價金四圓 送料卅八錢

9月新秋号

中央公論

特價八拾錢

司法官に上るの書　高島米峰

國家改革の原理・宮澤俊義

☆内閣審議會と調査局運用論・高橋龜吉

小說 ある有閑マダム　近松秋江

(小說) 女の産地　徳永直

(小說) 牡礪　林芙美子

讀書論　南弘

科學隨感　寺木或雄

政談……鈴木外較雄

法律和說……末弘嚴太郎

信(自)……村上成實

花柳界と演劇　小林一三

父・杉山茂丸……夢野久作

(時事諷刺) 文と絵 秋風帖　中川一政

論理の悲哀……逢川鎮次郎

吉村冬彦氏の印象　小路審篤

◇運命と人の力・武者小路實篤

★映畫女優は何故墮落するか……北山虎造

滿鐵新總裁松岡洋右……佐々弘雄

轉向後の左翼戰線……荒畑寒村

(口繪) 小杉放菴

街頭經濟學

高橋財政の檢討　大口喜六

退職手當法案の批判　末弘嚴太郎

隅田川両岸　久保田万太郎

・ラヂオの反動化を難ず　・長谷川如是閑　・清澤洌　・廣津和郎　・吉本明光

◇古今賣笑婦物語……瀧川政次郎

戀愛・映画・新聞小說　大熊信行

◇田中總裁の登場……小泉策太郎

左團次自叙傳

寫眞の逆說……原奎一郎

◇人の思ひ出・山川均

東京丸ビル 中央公論社

街の人物論 ▼重光葵 ▼市丸 ▼矢野恒太 ▼井伏鱒二

横光利一と室生犀星　杉山平助

現代家族論・戸田貞三

渡滿所信　松岡洋右

非常時陸軍論　平田晉策

文藝時評……正宗白鳥

三黨首會同論……馬場恒吾

新響の内紛　近衛秀麿

小森宗太郎

世界の暗室　Z・Y・X

特輯 極東問題の新展開　芦田均　尾崎秀実　伊藤正徳

大衆記 太平記　村松梢風

九月號 定價五〇セン

文藝春秋

外交回想斷片　石井菊次郎

歴代總理を檢討する　岡崎邦輔

□選擧今昔譚（政界夜話）城南隱士

□軍部畏怖症（新聞月評）大森太郎

□新響騒動とAK（ラヂオ月評）B・B・S

松平恒雄論　伊藤正徳

蘇聯五ヶ年計劃は失敗？　星島二郎

文壇人の經濟　杉山平助

選擧肅正と婦人團体　柿山浮士

女性滿足論　石原修

新響を追はれて　原善一郎

世界の歡樂街を語る座談會

滿鐵を覗く　太田正孝

刺された永田鐵山　江戸川清

父杉山茂丸を語る　夢野久作

新舊話論　清澤洌

戰爭の氣象學　荒川秀俊

京大事件後日物語　亮一

□別荘の高橋藏相（繪と文）岡本一平

暑中演劇雜筆　三宅周太郎

歐米二ヶ月の旅　丸木砂土

滿洲土産ばなし　市村羽左衛門

大自慢 家の犬の此頃……藤井浩祐　私の犬達……菊池寛

人物評論　都市

随筆

北海道のさるが……[illegible]

日支兩國優劣の所因に……尾崎行雄

外國を話す心得として……門野重九郎

外一、バルザック、ベスト……下田次郎

第一記……[illegible]

「我」人と云ふ……河井醉茗

○刀……伊藤忠兵衛

「吾」・……[illegible]

西外の事……[illegible]

手を上下する……市村[illegible]

判己の足……[illegible]

自主義のことども……大佛次郎

「ち」の同……小泉[illegible]

女給の社會學……生田[illegible]

片田舍から出た……佐藤[illegible]

北海道の開國進取の……久保田金[illegible]

五十年前の京都……林[illegible]

刑務所の運動會……入澤宗[illegible]

政日本の[illegible]……[illegible]

縁さの要……[illegible]

人間と家……河田[illegible]

殘暑隨筆

羅馬の夏……五來素川

カムチャッカの話……並河功

夏羽織……下島勳

利根川べり……有馬頼寧

雜草の庭……冨安風生

新人輕蔑論　小林秀雄

小說 裸像　徳田秋聲

懸賞当選長篇実話 闘犬師秘話　秋里佐雄

梨園太平記　四谷左内

□話の屑籠　菊池寛

□思ひ出るまゝ　徳田秋聲

□二階堂放話　久米正雄

芥川賞受賞作品 蒼氓　石川達三

東京市麹町區内幸町大阪ビル　文藝春秋社發行　振替東京一七六〇三

大阪商船出帆

近海郵船出帆

辰馬汽船出帆

大連汽船出帆

[illegible]

會葬御禮　松崎兼藏

商業登記公告

グリコ　ナツヤスミ ニッキ ワスレズニ

のむ人は ちはや かれ

良薬の病ふ

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

改訂増補 臺灣六法 定價金四圓 送料卅八錢 發行所 臺灣日日新報社販賣課

9月新秋号 中央公論

特價・八拾錢

司法官に上るの書 髙島米峰

☆國家改革の原理・宮澤俊義

☆内閣審議會と調査局運用論・髙橋龜吉

小説 ある有閑マダム 近松秋江

(小説) 女の産地 徳永直

(小説) 牡礪 林芙美子

科學隨感 桑木彧雄

百政評……鈴木外史雄

法律和談……末弘嚴太郎

信仰(?)……村上成實

花柳界と演劇 小林一三

父・杉山茂丸……夢野久作

文と絵 秋風帖 中川一政

(時事諷刺) 論理の悲哀……逢川鶴次郎

讀書論 南弘

◇運命と人の力・武者小路實篤

吉村冬彦氏の印象 辰野隆

★映畫女優は何故墮落するか……北山虎造

(口繪) 小杉放菴

街頭經濟學

滿鐵新總裁松岡洋右……佐々弘雄

轉向後の左翼戰線……荒畑寒村

髙橋財政の検討 大口喜六

隅田川両岸 久保田万太郎

退職手當法案の批判 末弘嚴太郎

◇ラヂオの反動化を難ず ・長谷川如是閑 ・清澤洌 ・廣津和郎 ・吉本明光

◇古今賣笑婦物語……瀧川政次郎

戀愛・映画・新聞小説 大熊信行

◇田中總裁の登場……小泉策太郎

左團次自叙傳

寫眞の逆説……原奎一郎

◇人の思ひ出・山川均

横光利一

室生犀星

杉山平助

現代家族論 戸田貞三

街の人物論 ▼重光葵 ▼市丸? ▼矢野恒太 ▼井伏鱒二

東京 丸ビル 中央公論社

渡滿所信 松岡洋右

非常時陸軍論 平田晋策

文藝時評……正宗白鳥

三黨首會同論……馬場恒吾

新響の内紛 近衛秀麿 小森宗太郎

世界の暗室 Z・Y・X

特輯 極東問題の新展開 芦田均 尾崎秀實 伊藤正徳

大奥太平記 村松梢風

文藝春秋 九月號

定價五〇セン

外交回想斷片 石井菊次郎

歴代總理を検討する 岡崎邦輔

隨筆

□選擧今昔譚 (政界夜話) 城南隠士

□軍部畏怖症 (新聞月評) 大森太郎

□新響騒動とAK (ラヂオ月評) B・B・S

松平恒雄論 伊藤正徳

蘇聯五ヶ年計劃は失敗? 星島二郎

文壇人の經濟 杉山平助

滿鐵を覗く 太田正孝

選擧肅正と婦人團体 柿山浮士

女性滿足論 石原修

新響を追はれて 原善一郎

刺された永田鐵山 江戸川清

新黄禍論 清澤洌

世界の歡樂街を語る座談會

父杉山茂丸を語る 夢野久作

戰爭の氣象學 荒川秀俊

京大事件後日物語 城亮一

□別荘の高橋藏相 (繪と文) 岡本一平

暑中演劇雜筆 三宅周太郎

歐米二ヶ月の旅 丸木砂土

滿洲土産ばなし 市村羽左衛門

都市人物評論 △松本 △金澤 △長野 △大阪 △新潟

大自慢 家の犬の此頃……藤井浩祐 私の犬達……菊池寛

懸賞当選長篇実話 闘犬師秘話 秋田土佐雄

梨園太平記 四谷左内

□話の屑籠 菊池寛

□思ひ出るまゝ 徳田秋聲

□二階堂放話 久米正雄

残暑隨筆

羅馬の夏……五來素川

カムチャッカの話……並河功

夏羽織……下島勳

利根川べり……有馬頼寧

雜草の庭……富安風生

新人輕蔑論 小林秀雄

小説 裸像 徳田秋聲

芥川賞受賞作品 蒼氓 石川達三

東京市麹町區内幸町大阪ビル 文藝春秋社發行 振替東京一七〇六〇三

因大阪商船出帆

近海郵船出帆

辰馬汽船出帆

大連汽船出帆

商業登記公告

●株式會社新高新報社變更 取締役田宮良造 昭和拾年八月九日死亡

臺北地方法院基隆出張所

會葬御禮 丸一組 松崎兼藏

ナツヤスミ ニッキ ワスレズニ グリコ

ひふ病の良薬 全治水

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

改訂増補 臺灣六法
發行所 臺灣日日新報社販賣課

中央公論
9月新秋號
特價・八拾錢

司法官に上るの書　高島米峰

☆國家改革の原理・宮澤俊義

☆内閣審議會と調査局運用論・高橋龜吉

小説 ある有閑マダム　近松秋江

小説 女の産地　徳永直

小説 牡礪　林芙美子

讀書論　南弘

◇運命と人の力・武者小路實篤

科學隨感　桑木彧雄

法律和談　末弘嚴太郎

信教　村上成實

花柳界と演劇　小林一三

父・杉山茂丸　夢野久作

論理の悲哀　逢川鎮次郎

秋風帖　中川一政

吉村冬彦氏の印象　辰野隆

★映畫女優は何故墮落するか　北山虎造

滿鐵新總裁松岡洋右　佐々弘雄

轉向後の左翼戰線　荒畑寒村

隅田川兩岸　久保田万太郎

(口繪) 小杉放菴

街頭經濟學　大口喜六

高橋財政の檢討

退職手當法案の批判　末弘嚴太郎

◇ラヂオの反動化を難ず　長谷川如是閑

◇古今賣笑婦物語　瀧川政次郎

戀愛・映畫・新聞小説　大熊信行

◇田中總裁の登場　小泉策太郎

人の思ひ出・山川均

東京丸ビル 中央公論社

街の人物論　重光葵・市丸・矢野恒太・井伏鱒二

横光利一と室生犀星　杉山平助

現代家族論　戸田貞三

渡滿所信　松岡洋右

非常時陸軍論　平田晋策

文藝時評　正宗白鳥

三黨首會同論　馬場恒吾

新響の内紛　近衛秀麿

小森宗太郎

世界の暗室　Z・Y・X

特輯 極東問題の新展開　芦田均・尾崎秀実・伊藤正徳

大平記奥太　村松梢風

左團次自叙傳　寫眞の逆説　原奎一郎

清澤洌・廣津和郎・吉本明光

文藝春秋
九月號 定價五〇セン

外交回想斷片　石井菊次郎

隨筆

歴代總理を檢討する　岡崎邦輔

□選擧今昔譚　城南隱士

□軍部畏怖症　大森太郎

□新響騷動とAK　B・B・S

松平恒雄論　伊藤正徳

蘇聯五ケ年計劃は失敗？　星島二郎

文壇人の經濟　杉山平助

選擧肅正と婦人團体　柿山浮士

女性滿足論　石原修

新響を追はれて　原善一郎

世界の歡樂街を語る座談會

滿鐵を覗く　太田正孝

刺された永田鐵山　江戸川清

新官僚論　清澤洌

父杉山茂丸を語る　夢野久作

戰爭の氣象學　荒川秀俊

京大事件後日物語　亮一

□別荘の高橋藏相　岡本一平

暑中演劇雜筆　三宅周太郎

歐米二ケ月の旅　丸木砂土

滿洲土産ばなし　市村羽左衛門

都市人物評論

犬自慢　家の犬　此頃の犬　藤井浩祐　私の犬達　菊池寛

殘暑隨筆
羅馬の夏　五來素川
カムチャッカの話　並河功
夏羽織　下島勳
利根川べり　有馬頼寧
雜草の庭　富安風生

新人輕蔑論　小林秀雄

懸賞当選長篇実話　闘犬師秘話　秋田佐雄

梨園太平記　四谷左内

□話の屑籠　菊池寛
□思ひ出るまゝ　徳田秋聲
□二階堂放話　久米正雄

小説 裸像　徳田秋聲

芥川賞受賞作品 蒼氓　石川達三

東京市麴町區内幸町大阪ビル 文藝春秋社發行

大阪商船出帆

近海郵船出帆

辰馬汽船出帆

大連汽船出帆

會葬御禮　松崎兼藏

商業登記公告

グリコ　ナツヤスミ　ニッキ　ワスレズニ